

TechnoVeins

処方箋ラベル 印刷プログラム

PreScripton Label Maker Ver.2

取扱説明書

目次

1	製品紹介	1
1.1	特徴	1
1.2	商品内容	1
2	インストール	2
2.1	ネットワークドライブの設定	2
2.2	プログラムのインストール	5
3	起動と終了	7
3.1	ベース画面	7
3.1.1	実行ボタン	8
3.1.2	システム設定ボタン	8
3.1.3	環境チェックボタン	8
3.1.4	ネットワークドライブボタン	9
3.1.5	終了ボタン	9
4	設定画面	10
4.1	最初のシステム管理者パスワードの登録	10
4.2	システム設定画面の起動	11
4.3	インストール後の設定	12
4.4	エラーダイアログ	12
4.5	フォルダ設定	13
4.5.1	LAN 共有データフォルダ	14
4.5.2	システムデータフォルダ	14
4.5.3	ログフォルダ	15
4.5.4	ログを開くボタン	15
4.5.5	全ログを削除ボタン	15
4.6	データベース設定	16
4.7	医薬品データベース	16
4.7.1	医薬品データベース保存ボタン	16
4.7.2	医薬品データベースを転送ボタン	17
4.8	処方箋データベース	17
4.8.1	処方箋データベース保存ボタン	17
4.8.2	処方箋データベースを転送ボタン	17
4.9	システムデータベース	18
4.10	担当者設定	19
4.10.1	担当者設定例	20
4.10.2	新規登録	21
4.10.3	クリアボタン	22
4.10.4	担当者の更新	22
4.10.5	担当者の削除	23
4.11	ラベルプリンタ設定	24
4.11.1	IP アドレス設定	24

4.11.2	応答確認ボタン	24
4.11.3	印刷コマンドテストボタン	24
4.12	ラベル設定	25
4.12.1	ラベル設定	25
4.12.2	行数設定	25
4.12.3	左マージン	25
4.12.4	最終空白行の圧縮	25
4.12.5	最小行数制限	26
4.12.6	ラベル長調整行の圧縮	26
4.12.7	保存・印刷後 終了処理	26
4.12.8	印刷パラメータ設定	26
4.12.9	ラベルフッター印字設定	26
4.12.10	フッター右詰め配置	26
4.13	システム動作設定	27
4.13.1	システム管理パスワードの変更	27
4.13.2	システム情報	27
4.13.3	メンテナンスモード	27
4.14	ファイルメンテナンス	28
4.14.1	データベース CSV 出力	28
4.14.2	医薬品 CSV 読み込み	28
4.15	設定完了	29
5	処方ラベル発行画面の起動	30
5.1.1	起動直後の処方ラベル発行画面	30
5.1.2	基本操作	30
5.1.3	初期起動	31
5.1.4	担当者選択	32
5.1.5	担当者一覧表示ボタン	32
5.1.6	パスワードヒント	33
5.1.7	担当者解除	33
5.2	患者選択	34
5.2.1	カルテ新規登録	34
5.2.2	登録されたカルテの選択	34
5.2.3	カルテ一覧表示ボタン	34
5.2.4	クリアボタン	35
5.2.5	カルテ登録削除	35
5.2.6	患者 選択取消	36
5.2.7	患者情報訂正	36
5.3	基本処方	37
5.3.1	処方開始ボタン	37
5.3.2	新規として処方開始	37
5.3.3	標準処方からの処方開始	37
5.3.4	過去に登録がある場合の基本処方選択	38

5.3.5	履歴ボタン	38
5.3.6	登録履歴削除	39
5.4	処方登録開始	40
5.4.1	医薬品一覧リストからの選択	40
5.4.2	院内医薬品ボタン	41
5.4.3	全医薬品ボタン	41
5.4.4	医薬品一覧フィルタ	41
5.4.5	剤型区分	41
5.4.6	医薬品名	42
5.5	処方印刷	43
5.5.1	標準処方と比較	43
5.5.2	処方箋メモ	43
5.5.3	印刷後、標準処方として登録	43
5.5.4	ラベル印刷ボタン	43
5.5.5	印刷部数	44
5.5.6	テスト印刷	44
5.5.7	ラベルカット	44
5.6	処方保存	45
5.6.1	履歴設定に登録する日付	45
5.6.2	処方箋メモ	45
5.6.3	保存後、標準処方として登録	45
5.6.4	履歴保存ボタン	45
5.7	医薬品情報	46
5.7.1	医薬品リスト選択	46
5.7.2	標準選択名称	46
5.7.3	選択ボタン	47
5.7.4	医薬品メモ	47
5.8	処方編集ブロック	48
5.8.1	薬名入力ボックス	48
5.8.2	半角/全角ボタン	48
5.8.3	薬剤混合チェックボックス	48
5.8.4	用量、用法、日数チェックボックス	49
5.8.5	用量	50
5.8.6	用量単位一覧リスト編集	50
5.8.7	用法	51
5.8.8	用法一覧リスト編集	51
5.8.9	日数	52
5.8.10	日数単位一覧リスト編集	52
5.8.11	処方コメント	53
5.8.12	処方コメント一覧リスト編集	53
5.9	処方リスト	54
5.9.1	追加ボタン	54

5.9.2	訂正	54
5.9.3	処方リスト編集モード	55
5.9.4	変更ボタン	56
5.9.5	戻るボタン	56
5.9.6	削除ボタン	56
5.9.7	移動ボタン	56
5.9.8	移動モードの例	57

安全にご使用いただくために

- ・ 本製品を安全に正しくご使用いただくために、接続および設置を含めてご使用前に本取扱説明書(以後、本書とします)を必ずお読み下さい。
- ・ 本書はお読みになった後で、いつでも見られる所に保管してください。



警告

- ・ 故障または煙が出たり、変な臭いや異音がするなどの異常が起きたときには、すぐに使用をやめてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ・ 本書で指示されている部分以外の分解や改造はしないでください。けがや火災、感電あるいは故障の原因となります。
- ・ 雷が発生しているときにはすぐに使用をおやめください。また、本製品の設置およびケーブル類の取付け作業を行わないでください。感電の原因となります。
- ・ 水などの液体がかかるおそれがある場所、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ 本装置に異物や水や引火性溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)が入ったりしないよう、また濡らさないようご注意ください。万一、内部にこれらの液体が入った場合は、まず本装置の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ・ 破損したり落としたりした場合は使用をやめてください。火災や感電の原因となります。
- ・ めれた手で接続プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- ・ 接続ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して、火災や感電の原因となります。
- ・ 電源アダプタを使用する機種の場合は、付属がある場合、付属の電源アダプタまたは指定された物をお使いください。他の電源アダプタを使用すると火災や感電の原因となります。御使用の際は、指定の電源電圧を守り、電源アダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。火災や感電の原因となります。

 **注意**

- ・ ぐらついた台や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。落ちてけがをしたり、故障により火災や感電の原因となります。
- ・ 移動の際に金属やプラスチック部分に異常が発生した場合には電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
- ・ 製品の一部もしくは全体が、通常の使用の際に比べ、異常な発熱を伴う場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障や火災の原因となります。
- ・ 接続ケーブルの上には重いものを載せないでください。また、熱器具に近付けないでください。ケーブルの被覆が破れ火災や感電の原因になります。
- ・ 接続ケーブルを抜くときは、コードの部分を引っ張らないでください。断線または短絡して、火災や感電の原因となります。
- ・ 本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・ 本製品および本製品を接続する機器のグラウンド(接地)をしっかり行ってください。漏洩電流や静電気などで、感電や故障の原因となります。
- ・ 本製品は、病院や医療機器などの人命に関わる設備での使用、人命に関わる機器との併用はしないでください。高度な信頼性を必要とする設備や機器に影響を与えることも考えられます。

記号について

 警告	 注意
この内容を見逃して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を見逃して誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容、データなどの情報損失を起こす可能性が想定される内容を示しています。

1 製品紹介

PSLM2 は処方箋ラベルを印刷するソフトウェアです。

1.1 特徴

主な特徴

- ネットワークで共有データ管理
- ネットワークで共有ラベルプリンタ出力
- 高保存全面ラベル対応
- 医薬品公開データベースをダウンロードして用いることで、手軽に医薬品名の入力ができます。

1.2 商品内容

PSLM2 ソフトウェア

以下のハードウェアとセットして使用します。

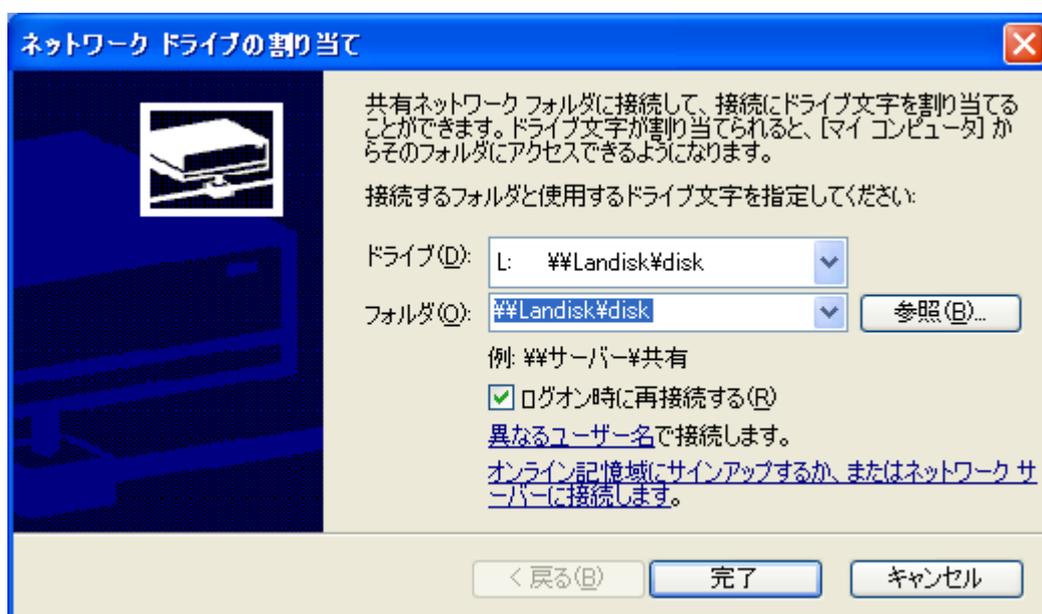
EPSON TM-L90 ネットワーク対応品

2 インストール

2.1 ネットワークドライブの設定

インストールは、ネットワークドライブヘータベースの登録および各 PC へのプログラムのインストールを行います。

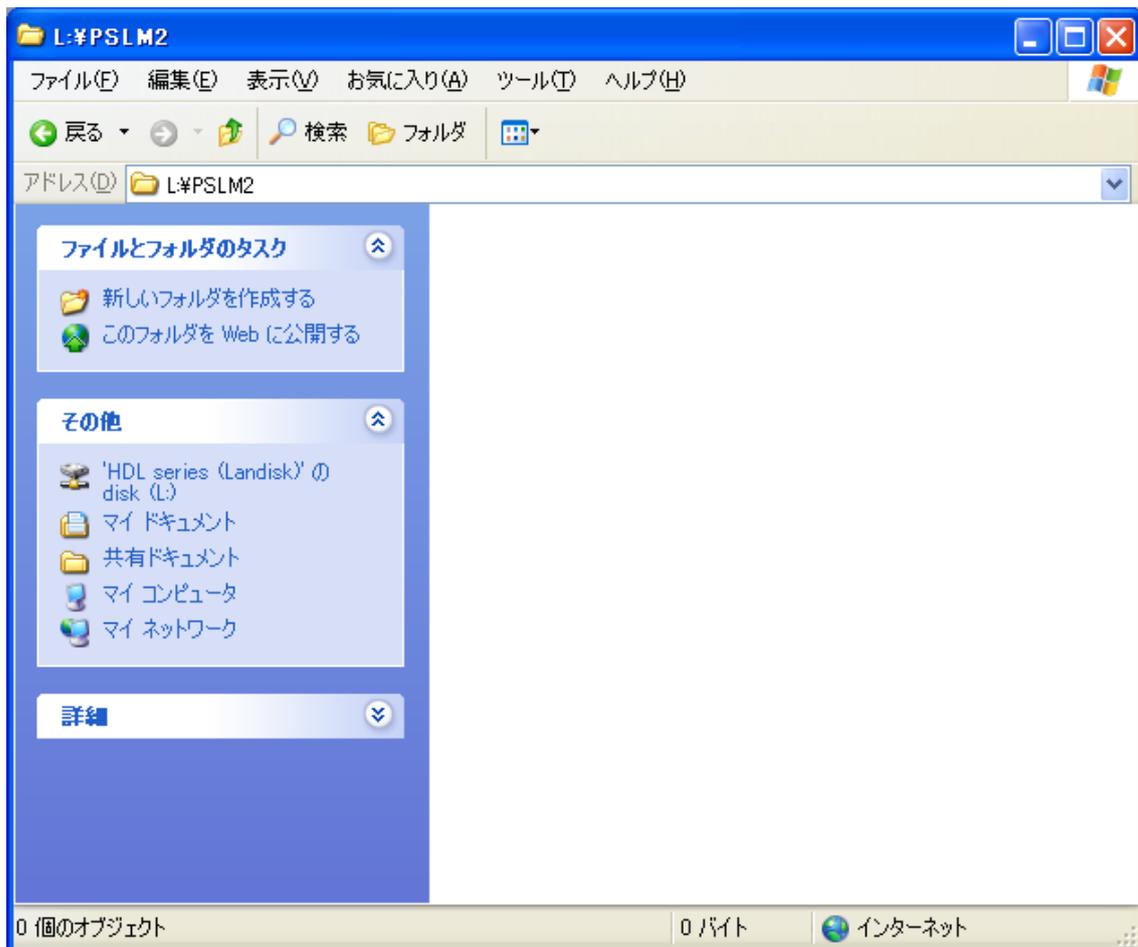
ネットワークドライブを構成するには、Windows XP のエクスプローラを用い、ツール-ネットワークドライブの割り当て で作成できます。



上記例では、ネットワークドライブを L:ドライブとして割り付けを行っています。

常にこのドライブを使用するために、ログオン時に再接続するにチェックを行ってください。

割り付けを行うと、エクスプローラで通常のローカルドライブと同様にアクセスを行うことができます。



上記例では、ネットワークドライブ上に PSLM2 というフォルダを作成し、そのフォルダを開いた状態です。

データベースはネットワークと使用する PC の 2 か所に存在します。

最初にネットワークドライブのフォルダに、インストール CD-ROM に入っている共有データベースファイルのデータベースをコピーします。

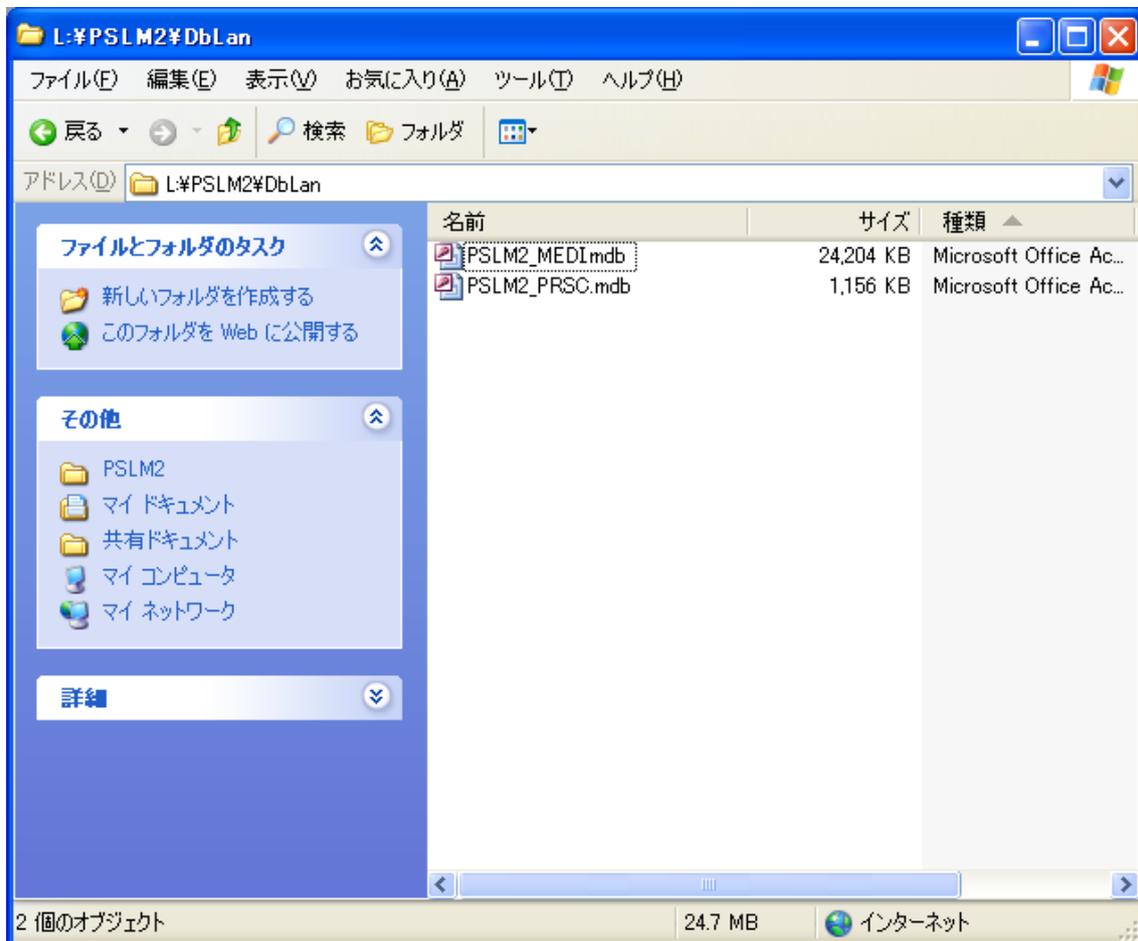
共有データベースとして、DbLan というフォルダ含まれる、以下の 2 つのデータベースファイルを、ネットワークドライブに適切なフォルダを作成してコピーします。

データベースフォルダは PSLM2 の設定で指定できるので、変更可能です。

PSLM2_MEDI.mdb 医薬品情報データベース

PSLM2_PRSC.mdb 登録カルテ情報データベース

以下は PSLM2 フォルダの下に DbLan フォルダごとコピーした例です。



ネットワークドライブへの設定は以上です。

上記フォルダは、各 PC の PSLM からアクセスされます。

上記 2 つのデータベースを定期的に保存(バックアップ)してください。

また、障害発生時は上記フォルダのデータベースをリストアしてください。

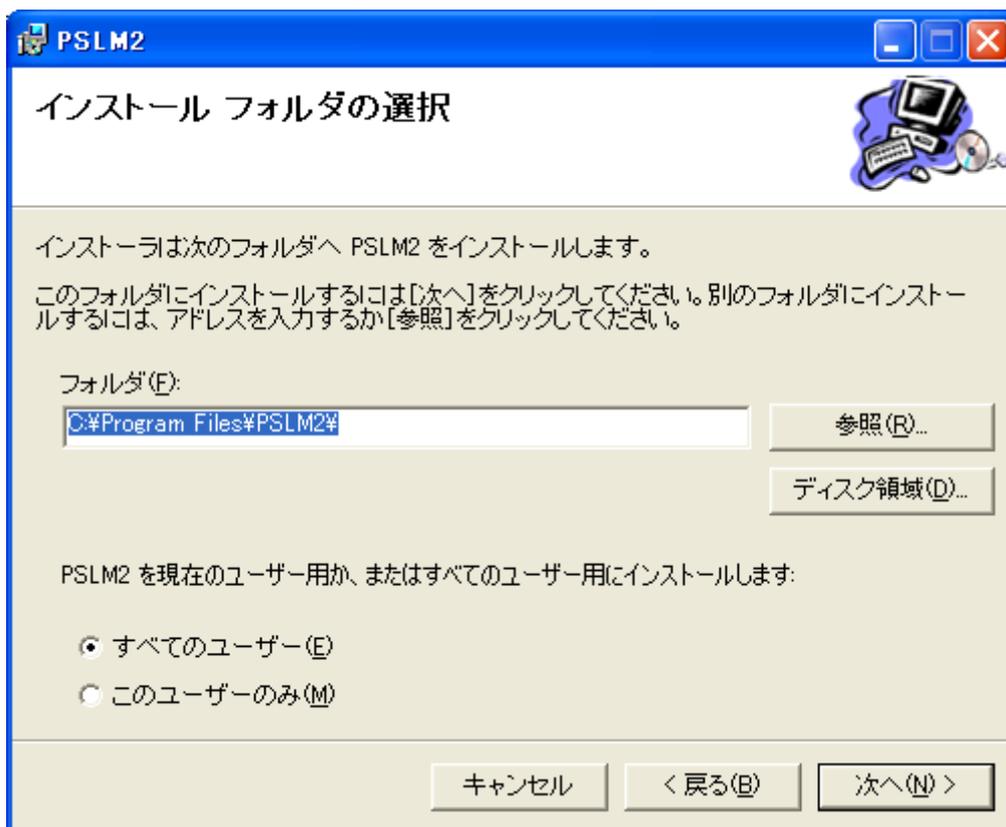
使用する PC のデータベースはプログラムと一緒にコピーされます。

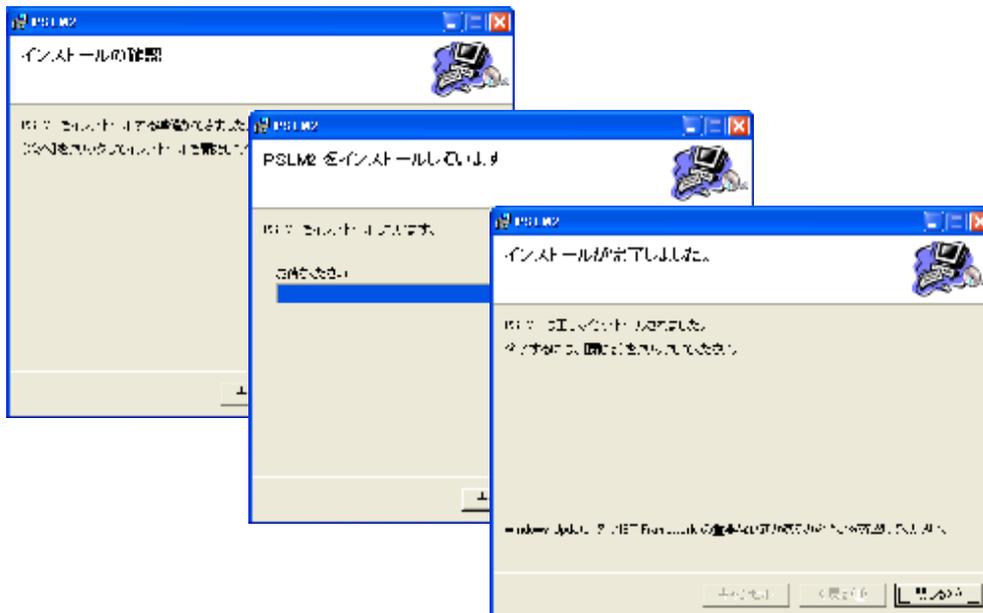
2.2 プログラムのインストール

インストール CD からインストールを行います。



インストールは Setup.exe を実行します。





3 起動と終了

3.1 ベース画面

プログラムを起動すると下記のベース画面が表示されます。

プログラム、設定の実行およびプログラムの終了はこの画面から行います。



ベースダイアログ

この時点ではパラメータが設定されていないため、まだプログラムは実行できません。

起動時に環境がチェックされ、ベース画面の下部のステータスウィンドにチェック結果が表示されます。

初期起動時は[システムに必要なフォルダの設定が行われていません。]が表示されます。

必要なパラメータが正しく設定されていない場合や、エラーが発生している場合、メインの処方箋登録フォームを選択した場合、環境チェック内容がステータスウィンドに表示されます。

最初は、システム設定ボタンで設定フォームを開き、パラメータを設定します。

また、設定情報が正しくない場合はエラーダイアログが表示されることがあります。

3.1.1 実行ボタン

処方箋登録画面を表示し、登録を実行します。



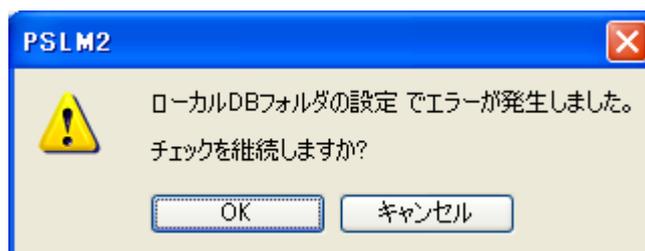
3.1.2 システム設定ボタン

システム設定画面を開きます。
インストール後最初にこの画面から設定を行います。
また、各設定を変更する場合も、この画面で行います。

3.1.3 環境チェックボタン

環境チェックを再度行い、ステータスウィンドに表示します。

環境エラーが発生している場合、エラーダイアログが表示されます。



3.1.4 ネットワークドライブボタン

フォルダの参照ダイアログにより、ネットワークドライブを確認します。

NAS 等のモデルによっては自動で電源起動や、再接続ができない場合このボタンでネットワークのドライブを表示し確認します。



3.1.5 終了ボタン

PSLM2 プログラムを終了します

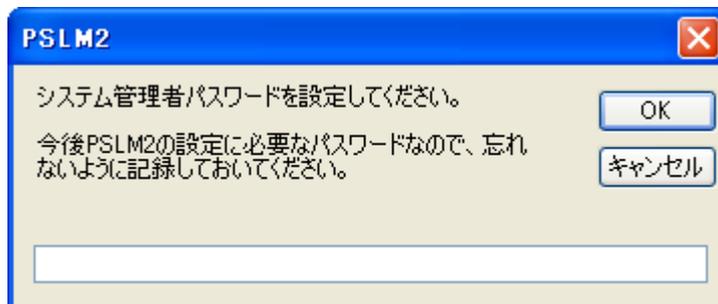
4 設定画面

4.1 最初のシステム管理者パスワードの登録

インストール後最初にシステム設定を行う際にシステム管理者パスワードの設定を求めてきます。

ここで設定したパスワードはシステム管理者パスワードとなりますので、絶対に忘れないように保存してください。(あとから変更できますが、その際に管理者パスワードが必要です。)

管理者パスワードを失った場合、プログラムの再インストールが必要になります。



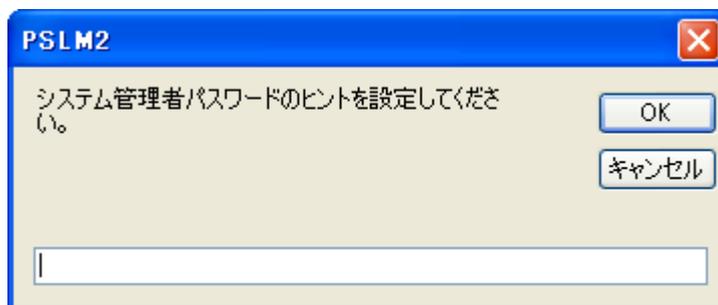
PSLM2

システム管理者パスワードを設定してください。

今後PSLM2の設定に必要なパスワードなので、忘れないように記録しておいてください。

OK

キャンセル



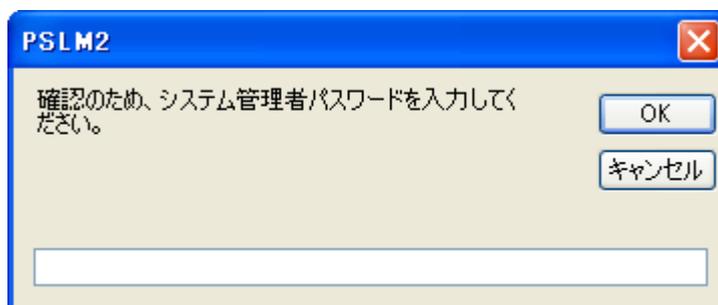
PSLM2

システム管理者パスワードのヒントを設定してください。

OK

キャンセル

また、パスワードを思い出せるようにパスワードヒントを合わせて登録できます。



PSLM2

確認のため、システム管理者パスワードを入力してください。

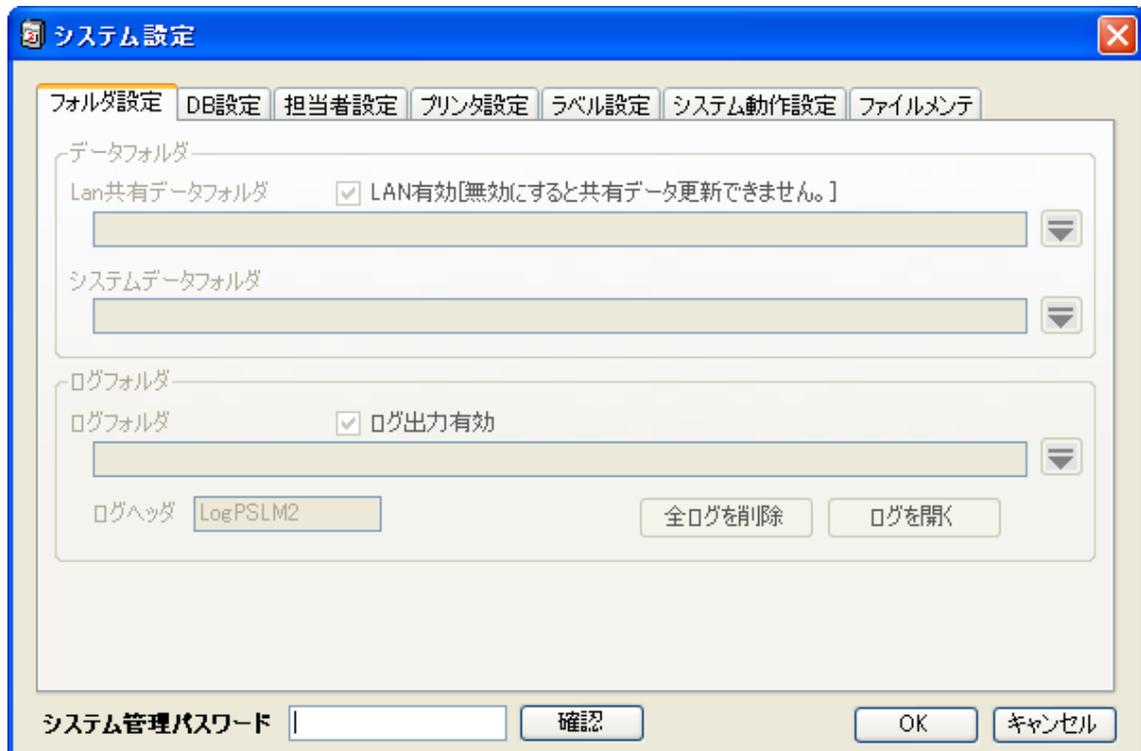
OK

キャンセル

確認のためにもう一度、管理者パスワードを入力してください。

いずれかのダイアログをキャンセルした場合、再度システム設定フォームを表示させることで入力できますが、システム設定を行うことはできません。

4.2 システム設定画面の起動



システム管理者パスワード画面を終了するとシステム設定画面が開きます。
システム管理者パスワードを入力し、確認ボタンを押すことで、パスワードが確認されるとシステム設定を行うことができます。
システム管理者パスワードが設定されていない場合、キャンセルボタンでシステム設定画面を閉じます。

4.3 インストール後の設定

インストール後は最初に以下の設定項目について設定を行ってください。

フォルダ設定タブ

Lan 共有データフォルダのパス設定
システムデータフォルダのパス設定
ログフォルダのパス設定

プリンタ設定タブ

ラベルプリンタ設定-IP アドレス
ラベル設定 ラベル印字設定 フッター印刷

医薬品、処方箋データベースのローカルフォルダ(使用する PC)へのコピー

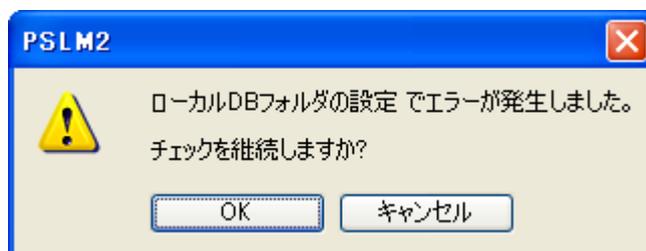
データベースはネットワークと使用する PC の 2 か所に存在します。

ネットワークドライブにあるフォルダをネットワークフォルダ、使用する各 PC にあるフォルダをローカルフォルダと呼びます。

システム管理パスワードを入力確認に成功すると設定が可能になります。

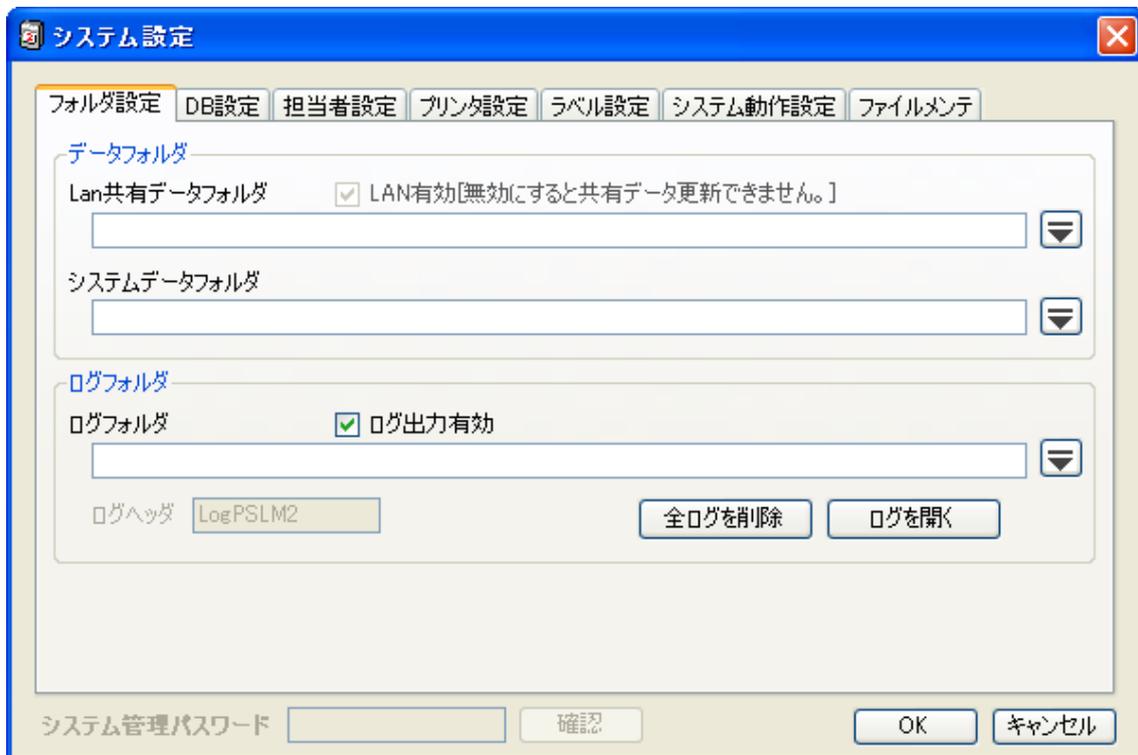
4.4 エラーダイアログ

設定が終わるまでの間、場合によってエラーダイアログが表示される場合がありますが、OK またはキャンセルで続けてください。(動作に問題はありません。)



4.5 フォルダ設定

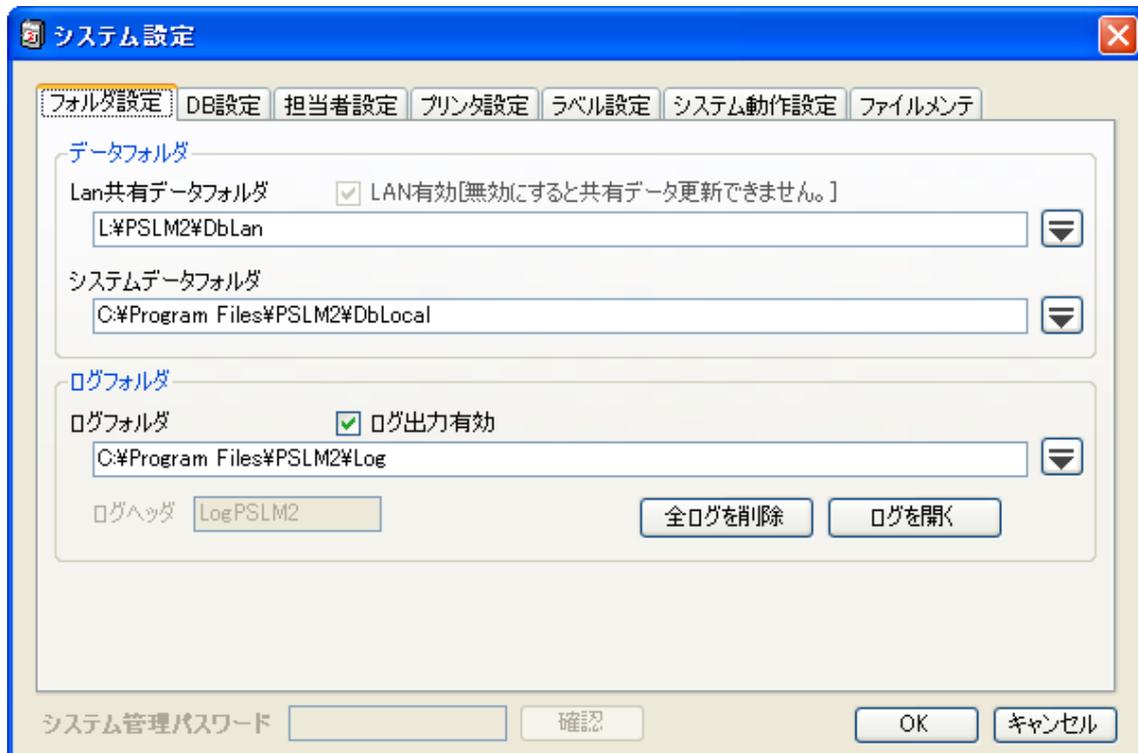
プログラムで使用するフォルダを設定します。



 ボタンでフォルダの参照ダイアログを表示し、フォルダ選択し登録を行うことができます。



以下はフォルダを設定した例です。ご使用の環境に合わせた設定を行います。



注意:ご使用される環境によりフォルダは異なります。

4.5.1 LAN 共有データフォルダ

最初に共有データベースフォルダをコピーしたネットワークドライブのパスを設定します。
(ここでは DB ファイル名は指定しません)

LAN 共有データフォルダには医薬品データベースと共有処方箋データベースが存在します。

4.5.2 システムデータフォルダ

データベースを含むローカルドライブのフォルダのパスを設定します。(DB 名は含みません)

右のフォルダ選択ボタンで選択するか、直接入力を行います。

通常インストールしたフォルダのローカル DB を指定します。

¥Program Files¥pslm2¥DbLocal

4.5.3 ログフォルダ

動作記録をログファイルとして出力するフォルダのパスを設定します。

右のフォルダ選択ボタンで選択するか、直接入力を行います。

4.5.4 ログを開くボタン

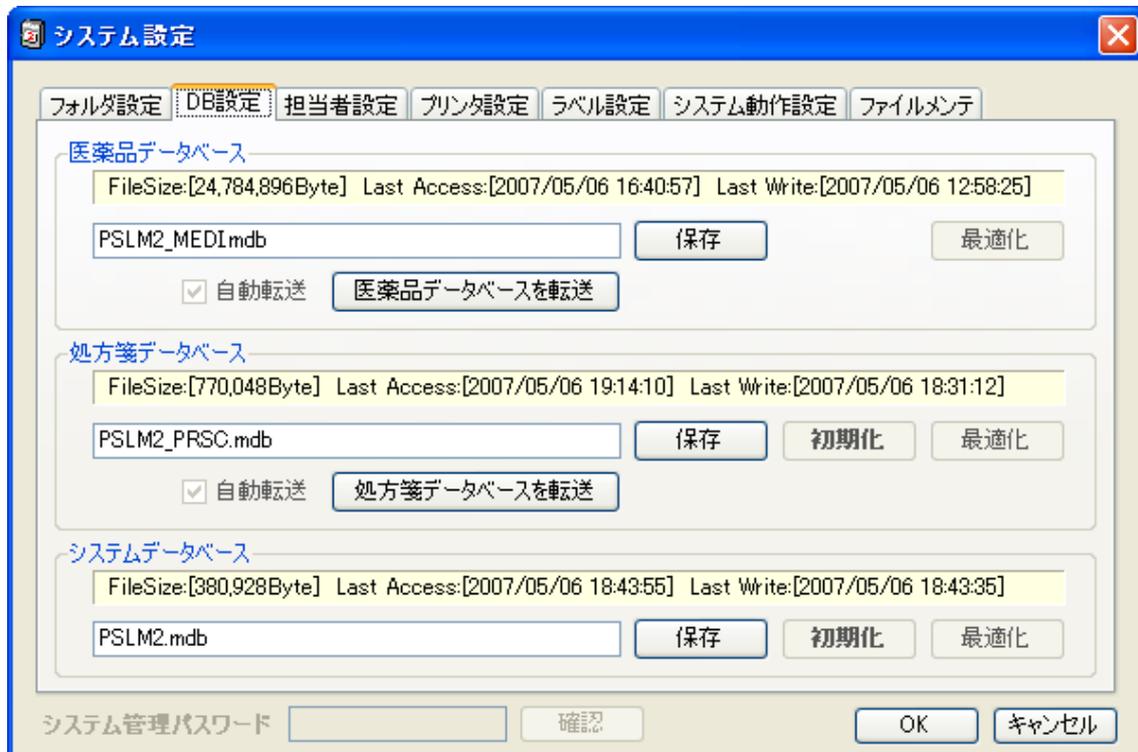
保存されているログを選択し、Windows に登録されたテキストファイルに関連付けられたプログラムでログファイルを開くことができます。

4.5.5 全ログを削除ボタン

ログを一括削除できます。

不要な動作ログは削除できます。ログファイルは動作に影響はありません。

4.6 データベース設定



4.7 医薬品データベース

医薬品データベースには処方箋作成の基となる医薬品情報が保存されています。

おもに参照データ読み出し用のデータベースです。

また、医薬品から派生して作成される用量単位はこのデータベースで管理されます。

医薬品データベースは頻繁にアクセスするため、ローカルドライブにコピーされ、ローカルデータに対してアクセスします。

通常、プログラム終了時に LAN ドライブ 医薬品データベースはサイズと日付をチェックし、ファイルが更新されている場合、ローカルドライブにコピーされます。

4.7.1 医薬品データベース保存ボタン

ネットワークの医薬品データベースを指定フォルダにコピーします。

異常が発生した場合、マニュアル操作にてデータベースを保存したフォルダよりコピーし復旧してください。

4.7.2 医薬品データベースを転送ボタン

医薬品データベースが更新されている場合、ネットワークフォルダからローカルフォルダにデータベースを転送します。

最初の設定のデータベースパスを設定後に、医薬品データベースを転送ボタンによりネットワークフォルダからローカルフォルダにデータベースを転送してください。

転送せずに終了すると、ローカルデータベースが見つからないエラーが表示されますが、エラーダイアログを無視してプログラムを終了することで、自動転送により自動的にコピーが行われます。(以降はプログラム終了時に自動的にチェックが行われます)

最適化機能はメンテナンスモード時に有効です。

4.8 処方箋データベース

共有データの保存データベースです。

担当者情報、カルテ情報や各端末で作成された処方箋を保存登録するデータベースです。

4.8.1 処方箋データベース保存ボタン

ネットワークの処方箋データベースを指定フォルダにコピーします。

異常が発生した場合、マニュアル操作にてデータベースを保存したフォルダよりコピーし復旧してください。

もっとも重要なデータベースですので、頻繁に保存されることを推奨します。

4.8.2 処方箋データベースを転送ボタン

ネットワークの処方箋データベースが更新されている場合、ネットワークフォルダからローカルフォルダにデータベースを転送します。

最初の設定のデータベースパスを設定後に、処方箋データベースを転送ボタンによりネットワークフォルダからローカルフォルダにデータベースを転送してください。

転送せずに終了すると、ローカルデータベースが見つからないエラーが表示されますが、エラーダイアログを無視してプログラムを終了することで、自動転送により自動的にコピーが行われます。(以降はプログラム終了時に自動的にチェックが行われます)

初期化、最適化機能はメンテナンスモード時に有効です。

初期化はすべてのデータを削除し、データベースを新規状態にします。

4.9 システムデータベース

システムデータベースは動作に必要なローカルデータの保存及びワークとして使用されます。

用法単位やコメントなどはそれぞれの PC ごとにローカルデータベースとして管理されます。

各 PC 端末で作成された処方箋データは、このシステムデータベース上に保存され、そののち共有データベースへ保存されます。

共有データベースはすべての PC 端末からのデータが保持されます。

4.10 担当者設定

担当者を設定します。

担当者ごとに使用することができる項目を設定し、許可された項目についてのみの操作ができます。

基本設定ボタンにより、簡易的に許可項目の設定を行えます。

必要に応じて許可項目チェックボックスにて設定してください。

管理者基本設定ボタン 全ての権限を持ちます。

全不許可設定 全ての許可権限がありません。

患者情報—許可項目 患者についての許可

処方内容—許可項目 処方箋登録についての許可

情報出力—許可項目 印刷や保存についての許可

4.10.1 担当者設定例

システム設定

フォルダ設定 DB設定 担当者設定 プリンタ設定 ラベル設定 システム動作設定 ファイルメンテ

ID: 表示更新

患者情報-許可項目 登録 変更 削除 表示

処方情報-許可項目 登録 削除 設定

処方出力-許可項目 ラベル ファイル

基本設定 管理者設定 責任者設定 担当医師設定 入力担当設定 全不許可設定

担当者名 小児科 田中 一郎 記号 田 クリア 削除 新規登録

パスワード abcde ヒント abcdeだよ

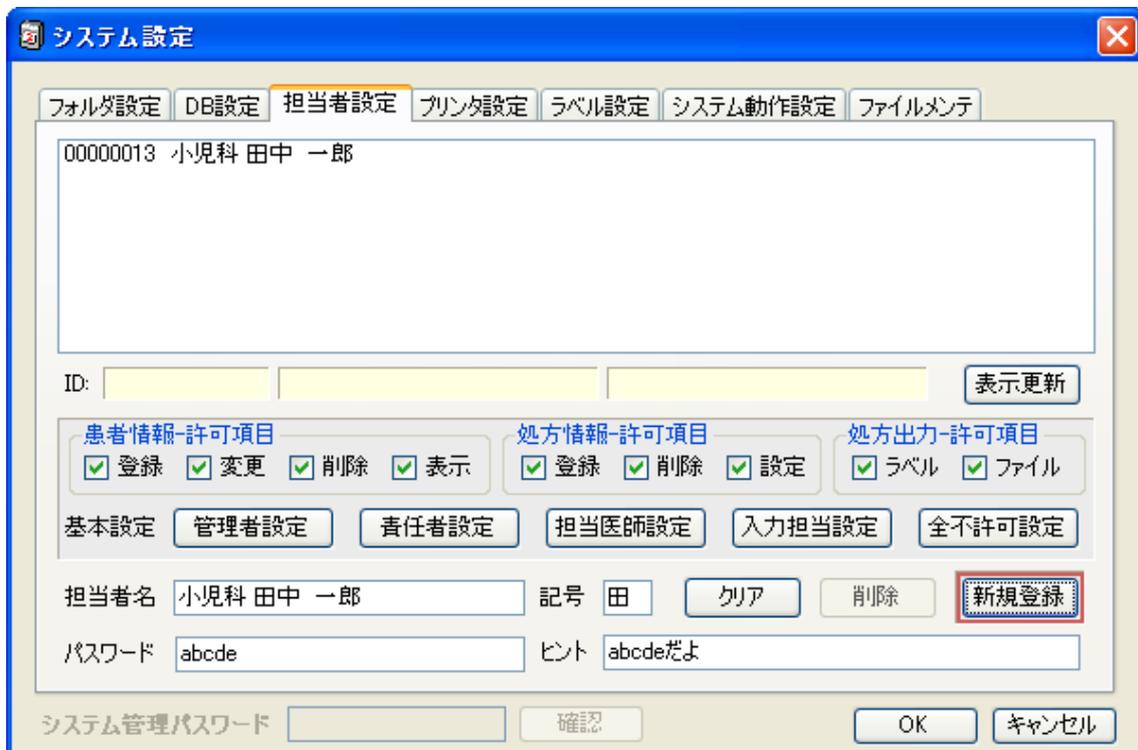
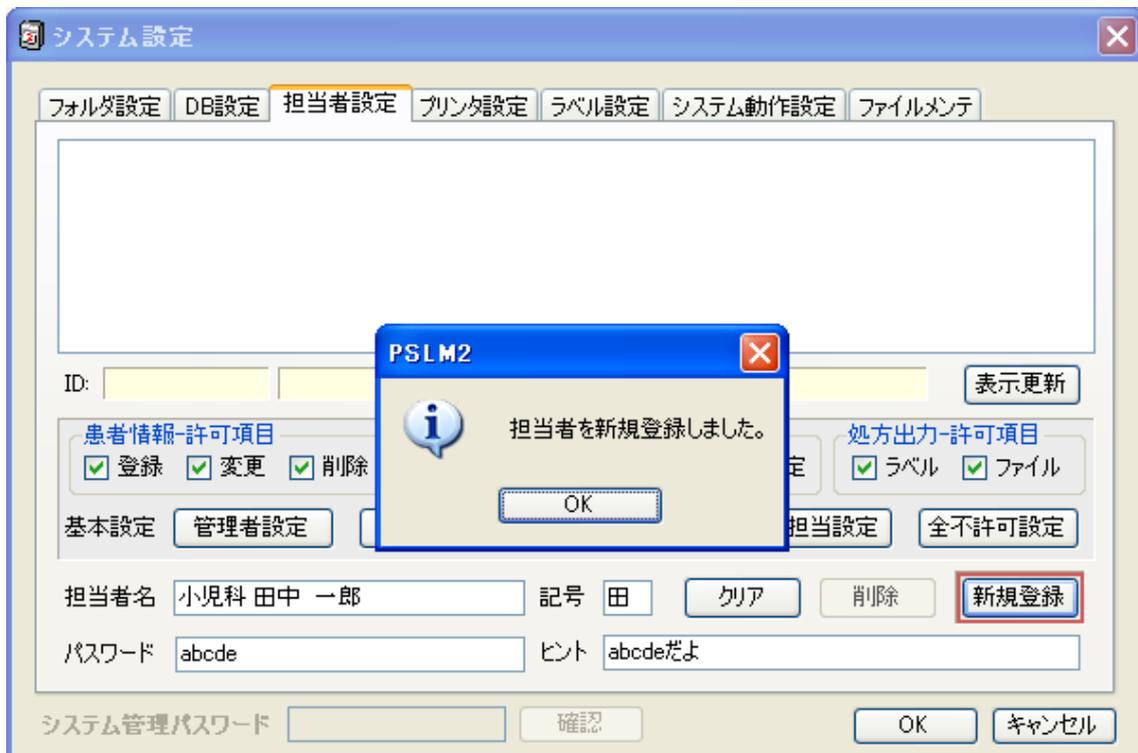
システム管理パスワード 確認 OK キャンセル

パスワードを設けないことも可能ですが、特に重要な項目を許可している場合、セキュリティを高めるためにパスワード設定を行ってください。(強く推奨します。)

データの削除は、データの整合性を破壊する要因ともなりえますので、なるべく権限が高い担当者だけに与えてください。

操作許可設定、個人情報、パスワードのデータを入力後、新規登録ボタンで担当者の登録ができます。

4.10.2 新規登録



登録されました。

注意:新規登録ボタンを押さずに画面を終了すると、担当者は登録されません。

4.10.3 クリアボタン

クリアしてから入力を開始すると新規登録モードとなります。

各項目を入力して新規登録を押すと登録されます。

4.10.4 担当者の更新

システム設定

フォルダ設定 DB設定 担当者設定 プリンタ設定 ラベル設定 システム動作設定 ファイルメンテ

00000013 小児科 田中 一郎

ID: 13 登録日 2007/05/06 15:58:49 更新日 2007/05/06 15:58:49 表示更新

患者情報-許可項目 登録 変更 削除 表示

処方情報-許可項目 登録 削除 設定

処方出力-許可項目 ラベル ファイル

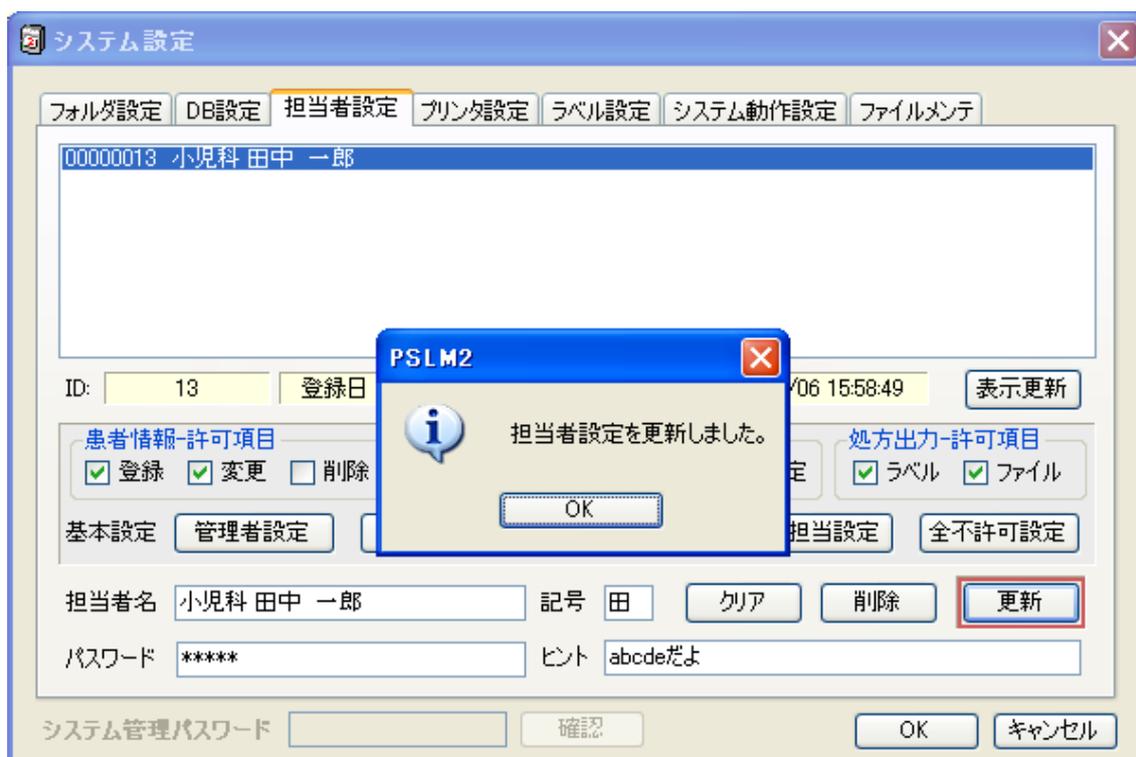
基本設定 管理者設定 責任者設定 担当医師設定 入力担当設定 全不許可設定

担当者名 小児科 田中 一郎 記号 田 クリア 削除 更新

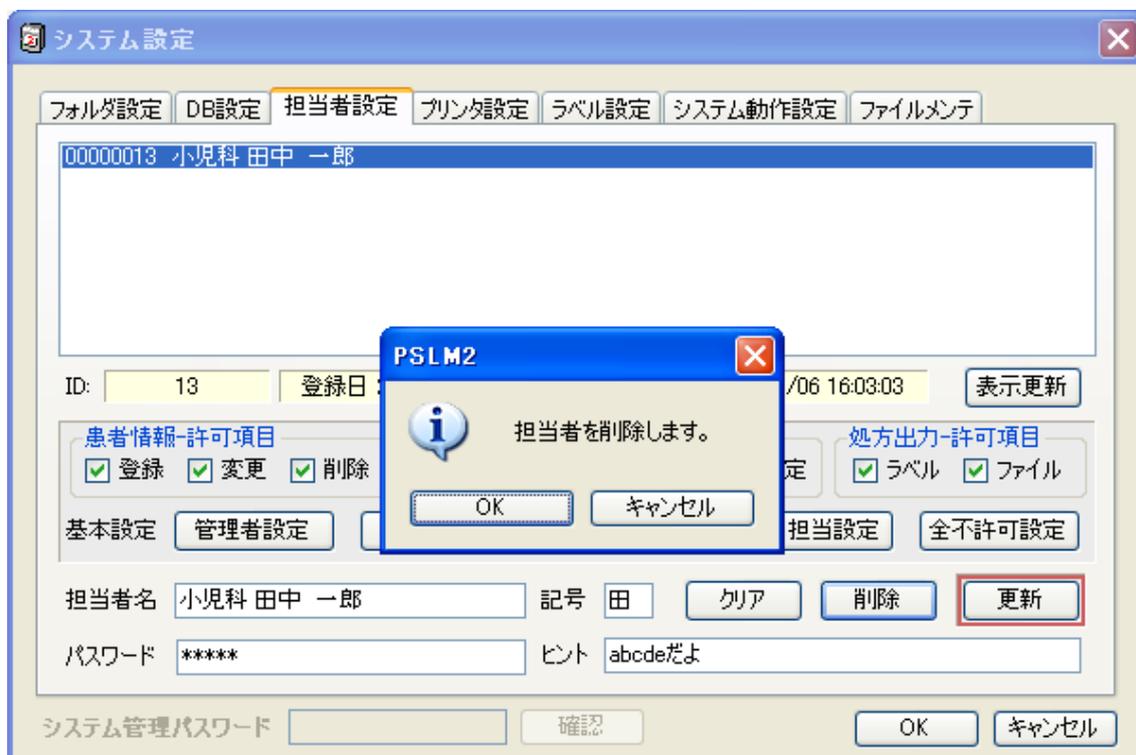
パスワード ***** ヒント abcdeだよ

システム管理パスワード 確認 OK キャンセル

先にリストから担当者を選択すると更新モードとなります。

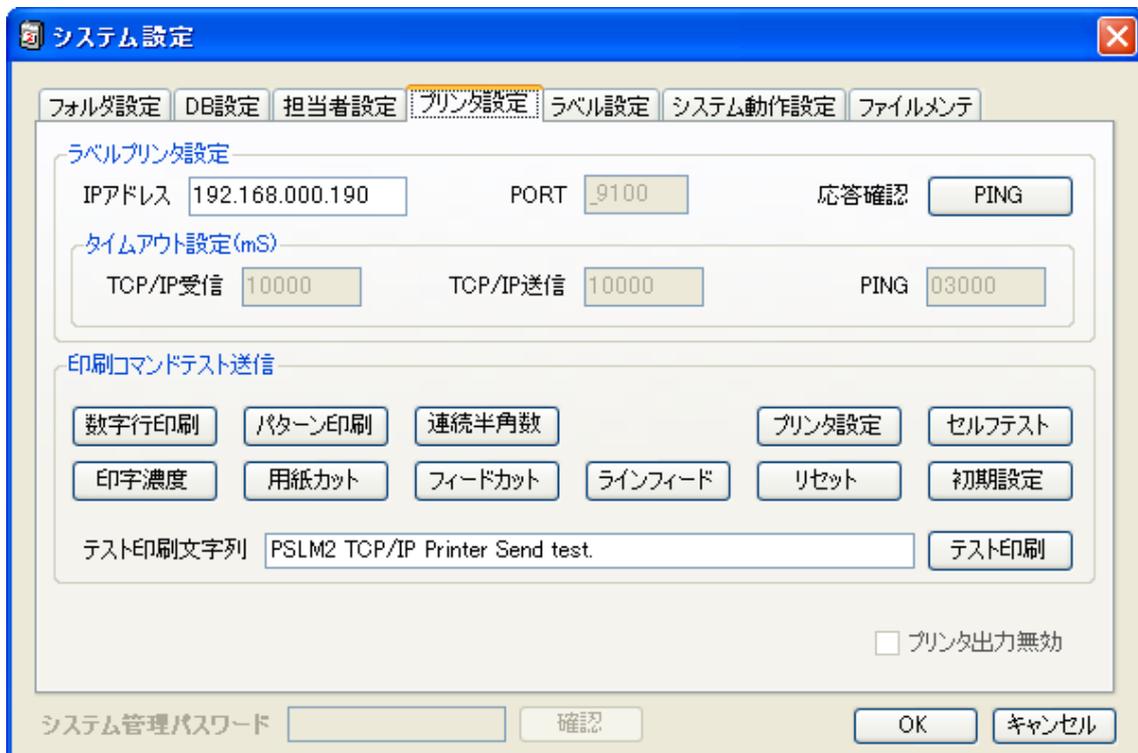


4.10.5 担当者の削除



担当者を選択し、削除ボタンにより担当者を削除できます。

4.11 ラベルプリンタ設定



4.11.1 IP アドレス設定

固定アドレスに設定した TM-L90 ネットワークプリンタの IP アドレスを設定します。

プリンタの IP 設定はプリンタマニュアルを参照してください。

4.11.2 応答確認ボタン

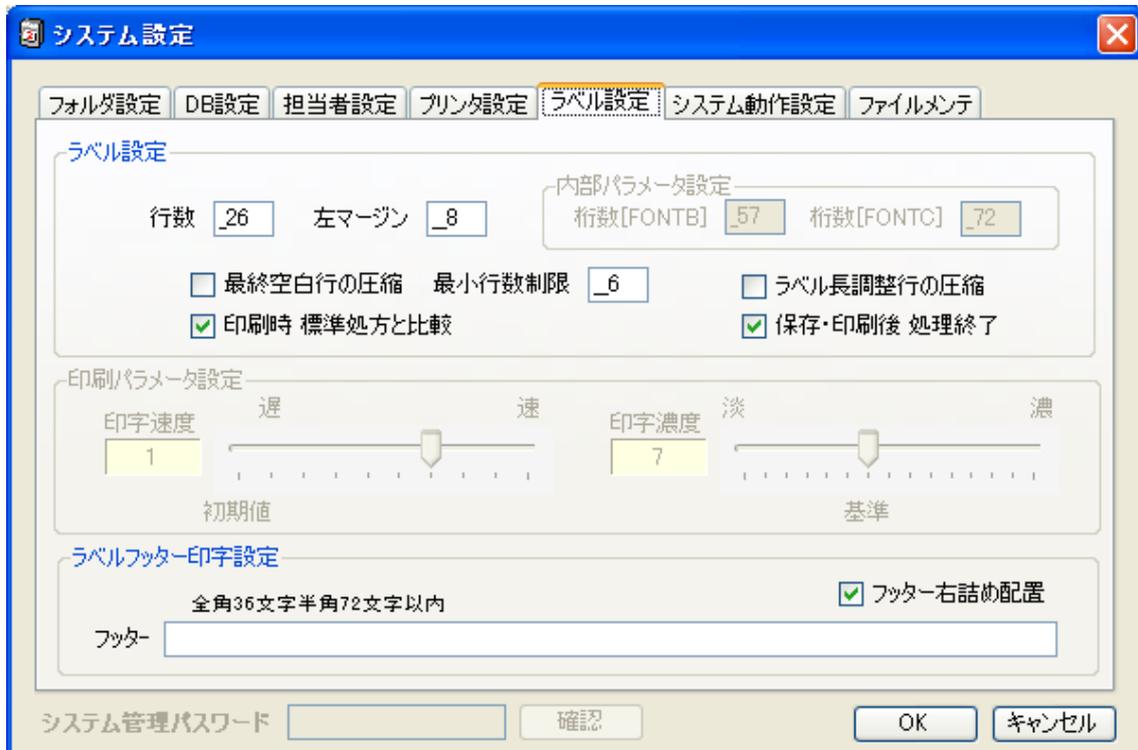
PING 送信に対するネットワークプリンタ応答の確認ができます。

4.11.3 印刷コマンドテストボタン

プリンタ印字テストが行えます。

ネットワーク経由でプリンタへテストコマンドを直接送信します。

4.12 ラベル設定



4.12.1 ラベル設定

4.12.2 行数設定

全面ラベルのラベル 1 枚の長さ(データ行数指定)を設定します。

空白部に余白を送りを行い、すべてのラベルが同じ大きさになるように調整します。

4.12.3 左マージン

ラベル左の余白ドット数指定

4.12.4 最終空白行の圧縮

最後のラベルについて上記で設定した行数の余白を無効にします。

4.12.5 最小行数制限

非常に短いラベルを作成すると、ラベルとして添付する際に困難であったり、プリンタ内へのラベル落ち込みを防ぐために、最終空白行の圧縮が設定された場合でも、ここで指定した最低の行数はラベル長を確保します。

4.12.6 ラベル長調整行の圧縮

ラベルの最終行に印刷する場合、1つの医薬品情報を分断して印刷することを防ぐために、ラベルの最終行にかかる場合自動的に送りを行います。この送りを圧縮します。

4.12.7 保存・印刷後 終了処理

保存や印刷など最終処理を行った後、自動的にクリアして新規登録待ちとなります。OFFに設定すると、保存・印刷後も入力された状態を保持します。その場合、終了もしくは患者選択取消により、手動で終了させる必要があります。

4.12.8 印刷パラメータ設定

メンテナンスモードで有効

印字濃度、印刷速度を設定します。

4.12.9 ラベルフッター印字設定

フッターは全ラベルの下部にフッター文字列が印刷されます。

フッター設定例

このラベルは高保存対応です。(10年保存)

4.12.10 フッター右詰め配置

フッター印字ポジションを指定します。

4.13 システム動作設定

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled 'システム設定' (System Settings). The 'システム動作設定' (System Action Settings) tab is selected. The dialog contains the following elements:

- Navigation tabs: フォルダ設定, DB設定, 担当者設定, プリンタ設定, ラベル設定, システム動作設定 (selected), ファイルメンテ
- Section: システム管理パスワードの変更[最大16文字]
Fields: 現在のパスワード (empty), 新しいパスワード (empty), 設定 (button)
- Section: システム情報
Fields: システム情報 (PSLM2 Build 20.00), 登録MAC (00E018F66509), MyID (2)
- Checkboxes: エラー詳細メッセージ (unchecked), メンテナンスモード (unchecked)
- Bottom: システム管理パスワード (empty), 確認 (button), OK (button), キャンセル (button)

4.13.1 システム管理パスワードの変更

システム管理者のパスワードを再設定します。起動時に設定したパスワードは、ここで変更可能です。

4.13.2 システム情報

内部の管理情報を表示します。

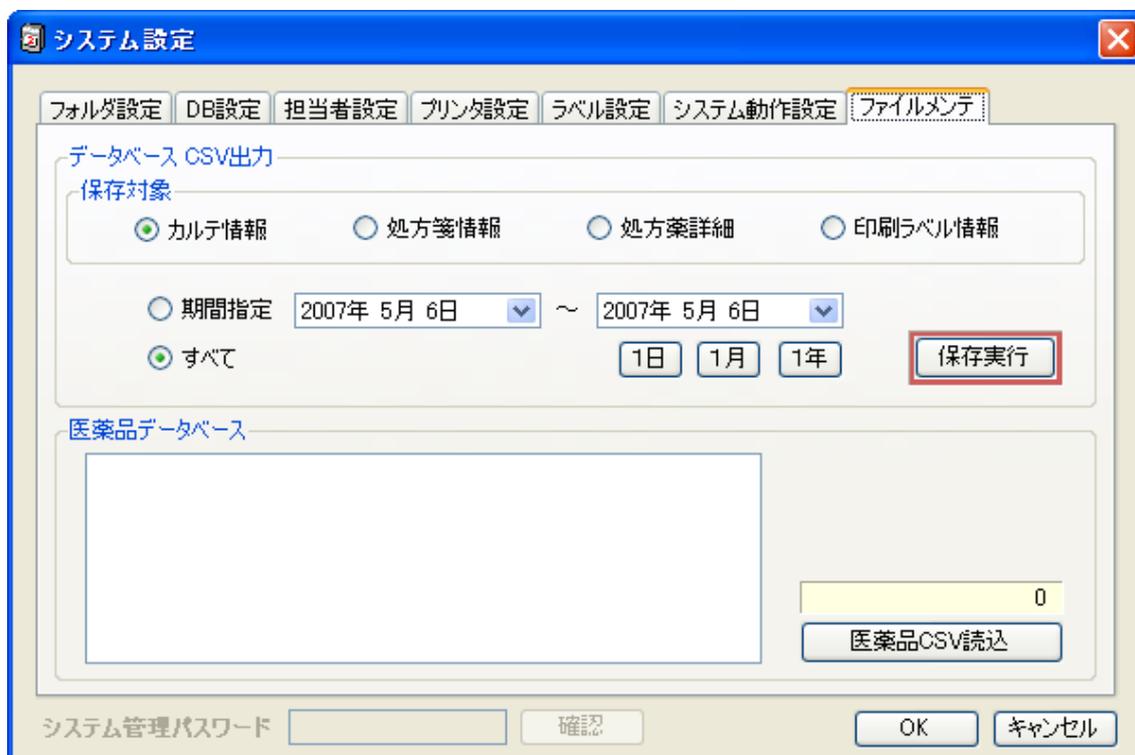
4.13.3 メンテナンスモード

メンテナンスモードでは、システムパラメータの変更ができます。

メンテナンスモードはシステム動作設定のメンテナンスモードにチェックした場合のみ有効となります。

(安全管理のため、メンテナンスモードへの切り替えのチェックは、システム管理パスワードを入力した後、5秒以内に行う必要があります。)

4.14 ファイルメンテナンス



4.14.1 データベース CSV 出力

登録されたデータベースの内容を CSV ファイルとして出力します。

(出力しても履歴の削除は行いません。)

保存された CSV ファイルは Excel 等で閲覧・印刷できます。

4.14.2 医薬品 CSV 読み込み

共有ネットワーク医薬品データベースに CSV データを書き込みます。

既存データを上書きするために、実行前に必ずバックアップを行ってください。

また、実行前に他の PC からのデータベース接続をすべて切断してください。

(読み込みデータに異常があった場合はデータが消滅することがあるため、この操作は慎重に行う必要があります。)

4.15 設定完了



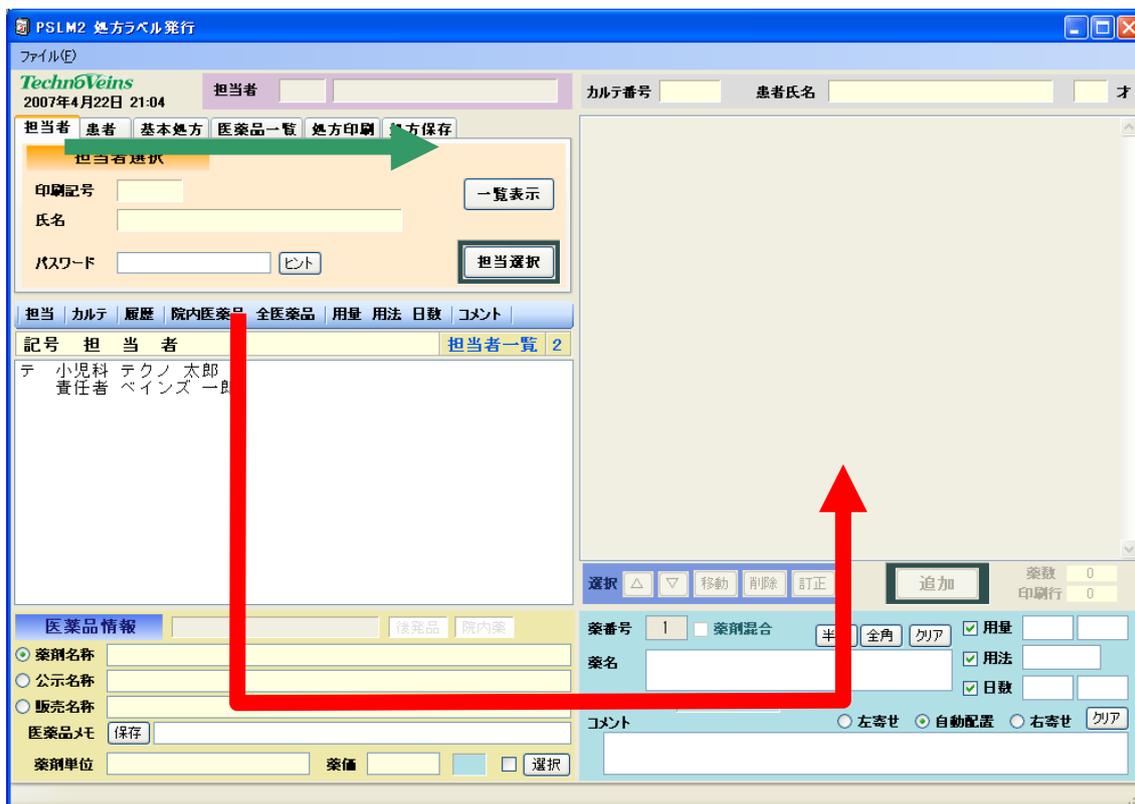
すべての設定が終了したら環境チェックリストがすべて OK となります。

この状態からであれば、実行ボタンで PSLM2 を実行できます。

(一部のチェックは NG が表示された状態でも起動できます。)

5 処方ラベル発行画面の起動

5.1.1 起動直後の処方ラベル発行画面



5.1.2 基本操作

基本的な操作は、左上のメニューを順に選択していくことで一連の処理を進めることができます。

担当者、カルテ、処方作成、印刷が大きな流れです。

また、一連の処方箋の医薬品データの流れとして、下の赤い矢印のような流れとなります。

担当者設定で許可されていない項目・機能は選択できません。

処方ラベル発行画面の終了は、上部のメニューのファイル項目 もしくは右上の  ボタンで終了します。

5.1.3 初期起動

起動後は、設定画面で登録された担当者が表示されます。

また、操作タブメニューは、担当者を設定するまで他の動作は禁止されます。

(選択できない状態となります。)

担当者設定で行った許可設定が行われている機能が、担当者設定後有効となります。

担当者	患者	基本処方	医薬品一覧	処方印刷	処方保存			
カルテ選択								
カルテ番号	<input type="text"/>	新規番号	<input type="text"/>	クリア	<input type="button" value="検索"/>			
氏名	<input type="text"/>	<input type="radio"/> 男性	<input type="radio"/> 女性					
氏名(カナ)	<input type="text"/>			才				
生年月日	西暦	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="button" value="新規登録"/>

入力が無効な状態

5.1.4 担当者選択

The screenshot shows the '担当者選択' (Attendant Selection) screen in the PSLM2 software. The window title is 'PSLM2 処方ラベル発行'. The interface includes a menu bar with '担当者' (Attendant) selected, and a toolbar with '担当者選択' (Attendant Selection) highlighted. The main area shows a list of attendants with '田 小児科 田中 一郎' (Tanaka Ichiro, Pediatrics) selected. The bottom section contains medication information fields and a '追加' (Add) button.

担当者をリストから選択し、パスワードを入力し、担当選択ボタンで担当者を決定します。

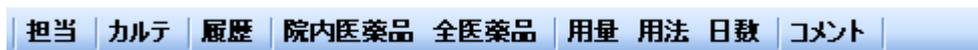
担当者が決定すると、上部の担当者表示部に担当者名と担当者記号(ラベルに印字される担当者識別記号)が表示されます。

担当者を決定するまでは、他の操作を行うことはできません。

担当者が決定すると、それぞれの担当者に与えられた操作設定の権限範囲で操作が可能となります。

担当者は各操作の権限の設定対象となるため、処方ラベル発行画面中での登録や内容変更はできません。

5.1.5 担当者一覧表示ボタン



担当ボタンで一覧表示できます。

5.1.6 パスワードヒント

パスワードヒントボタンを押すと、設置画面で登録されたパスワードのヒントが表示されます。

担当者パスワードおよびパスワードヒントは、システム管理者以外変更できません。

5.1.7 担当者解除

選択された担当者は、処方ラベル発行画面を終了するか、もしくは担当解除ボタンが押されるまで有効です。

担当者	患者	基本処方	医薬品一覧	処方印刷	処方保存
担当者選択					
印刷記号	田				一覧表示
氏名	小児科 田中 一郎				
パスワード		ヒント	担当解除		

5.2 患者選択

5.2.1 カルテ新規登録

カルテ選択から、処方する患者を選択します。新規患者のカルテ番号も、この画面で登録します。

カルテ番号が情報管理する基本となる番号で、登録後の変更はできません。そのためにカルテ情報は重複できません。

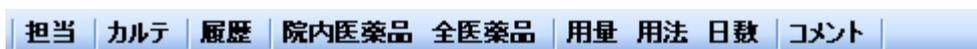
カルテ番号に対しての患者の個人情報として、氏名、生年月日、性別を登録します。

新規登録の場合、カルテ番号が決まっている場合は入力し、カルテ番号が決まっていない場合は新規番号で空き番号を検索します。

5.2.2 登録されたカルテの選択

すでに登録されているカルテ情報は、カルテ番号を入力することで選択できます。

5.2.3 カルテ一覧表示ボタン



カルテボタンで全カルテ表示ができます。

また、氏名など患者一部を入力し、検索ボタンを押すことで該当カルテ一覧を表示し、選択することができます。

選択後新規登録ボタンでカルテを選択します。

5.2.4 クリアボタン

選択ボタンを押す前に選択を変更する場合、クリアボタンで再度選択が行えます。

5.2.5 カルテ登録削除

カルテ選択後、カルテ選択ボタンが押されていない状態ではカルテ登録の削除を行うことができます。

誤って登録してしまった場合や、同じカルテ番号を他の患者へ変更する場合、カルテ番号の削除を行います。

5.2.6 患者 選択取消

選択中の患者を取り消します。

処方箋情報入力途中の場合、入力が取り消されます。

保存・印刷後 終了処理が OFF に設定されている場合、患者選択取消により患者入力を終了させ、続けて別の患者の入力を行うことができます。

5.2.7 患者情報訂正

患者情報の訂正を行う場合、訂正する患者のカルテを選択します。

カルテ選択すると、メニュータブは基本処方の選択となりますが、メニュータブから患者タブに切り替えると患者情報の訂正ができます。

担当者	患者	基本処方	医薬品一覧	処方印刷	処方保存			
カルテ選択								
カルテ番号	6021	新規番号	再表示		カルテ訂正			
氏名	安部 美優	<input type="radio"/> 男性 <input checked="" type="radio"/> 女性						
氏名(カナ)	アベミユ	34	才					
生年月日	西暦	1972	年	8	月	23	日	選択取消

5.3 基本処方

過去の処方履歴が表示されます。

また、保存時につけられた処方箋メモが表示されます。

5.3.1 処方開始ボタン

処方開始ボタンを押すことで、処方を開始します。

5.3.2 新規として処方開始

The screenshot shows a software interface with a top navigation bar containing tabs: 担当者, 患者, 基本処方 (selected), 医薬品一覧, 処方印刷, and 処方保存. Below the navigation bar is a section titled '処方初期内容の選択'. It contains two date input fields: '最古' (oldest) and '直近' (latest). Below these is a text input field for '処方箋メモ'. Underneath is a section for '登録開始データ' (registration start data) with three radio buttons: '新規' (selected), '標準処方', and '処方履歴'. To the right of these radio buttons is a text input field containing a number. At the bottom right of the section are two buttons: '履歴削除' (delete history) and '処方開始' (start prescription).

処方の間違いや手間を減らすために、過去の処方内容から処方内容を作成することができます。

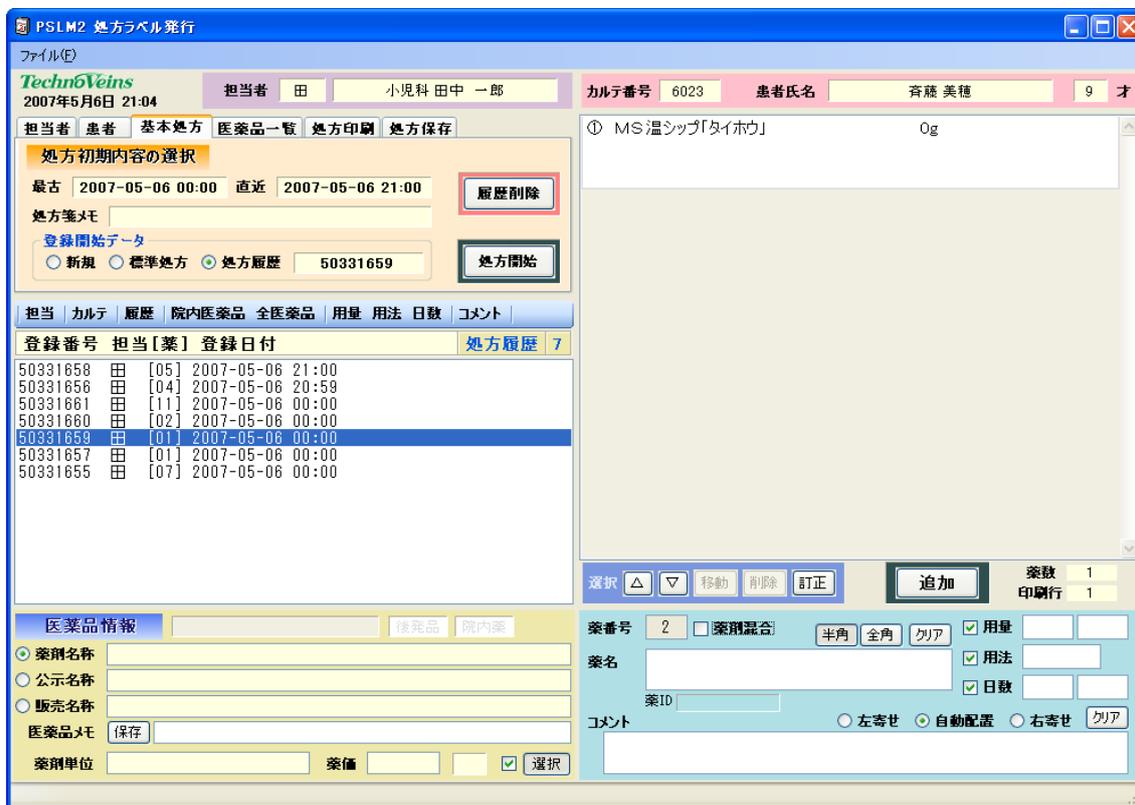
過去に登録がない場合、新規からの登録となります。

5.3.3 標準処方からの処方開始

This screenshot is similar to the previous one but shows the '標準処方' (standard prescription) radio button selected. The '最古' (oldest) date field is filled with '2007-05-06 00:00' and the '直近' (latest) date field is filled with '2007-05-06 21:00'. The '登録開始データ' (registration start data) text input field now contains the number '50331658'. The '処方開始' (start prescription) button is highlighted with a blue border.

処方保存や処方印刷の際、標準処方として保存された処方履歴がある場合、標準処方が選択できます。

5.3.4 過去に登録がある場合の基本処方選択



過去に処方履歴が保存されている場合、リストに一覧が表示されます。

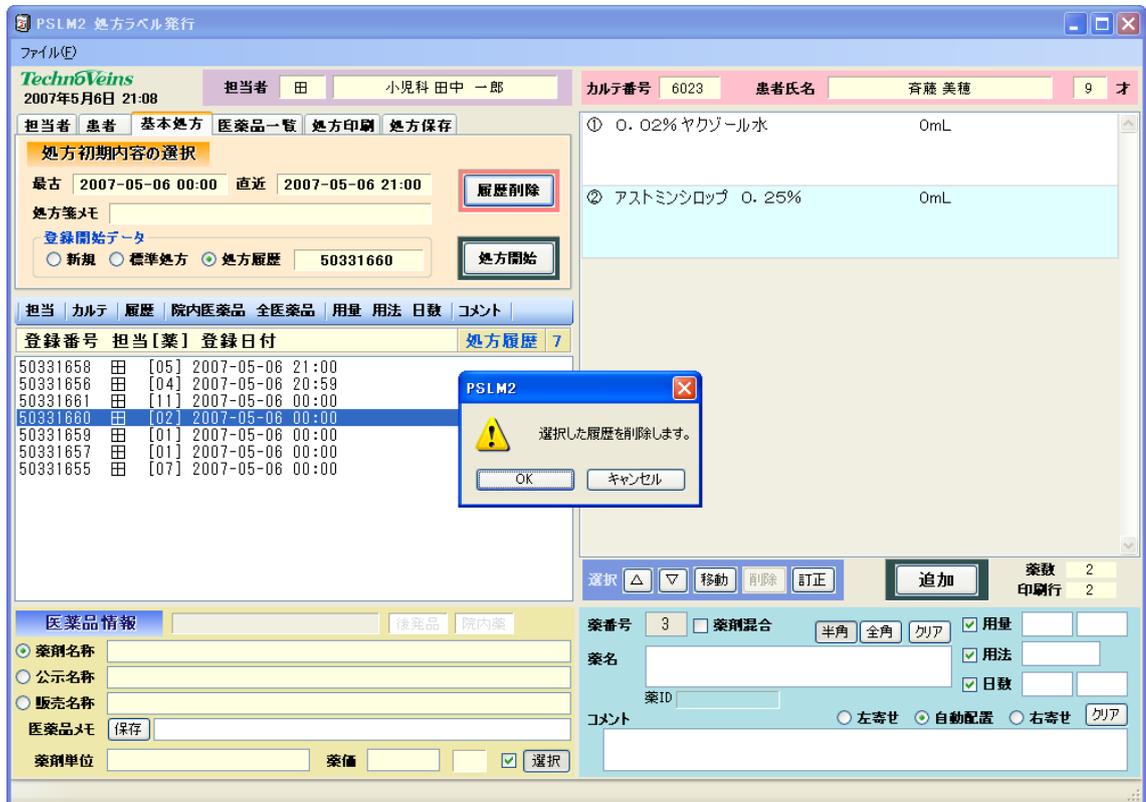
リストを選択することで、保存されている処方内容が右の処方薬一覧リストに表示されます。

5.3.5 履歴ボタン

担当 | カルテ | **履歴** | 院内医薬品 | 全医薬品 | 用量 | 用法 | 日数 | コメント

履歴一覧を表示することができます。

5.3.6 登録履歴削除



誤って登録した履歴など削除が可能です。

(履歴削除はデータに不整合を発生する恐れがあるため、注意して行ってください。)

5.4 処方登録開始

The screenshot shows the 'PSLM2 処方ラベル発行' window. At the top, it displays the date '2007年5月6日 21:11' and the user '田中 一郎'. The patient information includes 'カルテ番号 6023' and '患者氏名 斎藤 美穂'. The main area is divided into a left sidebar with filters and a right main area with a list of medicines. The list includes items like '0.02% ヤクザール水' and 'アストミンシロップ 0.25%'. Below the list, there are buttons for '追加' (Add) and '印刷' (Print). At the bottom, there are fields for '薬番号', '薬名', and 'コメント'.

処方箋に登録する医薬品を選択入力します。

医薬品は選択リストの表示された医薬品一覧リストから選択する方法と処方編集ブロックに直接薬名を手入力して行う方法があります。

処方入力がすべて終了した後は印刷もしくは保存を行います。

5.4.1 医薬品一覧リストからの選択

医薬品一覧リストから選択をおこなう場合、全薬品表示およびフィルタを用いた一覧表示があります。

通常は、院内薬にフィルタされた医薬品リストが表示されます。

リスト表示中、院内薬は登録番号の左側に・ドットが表示されます。

The navigation bar contains the following buttons: 担当, カルテ, 履歴, 院内医薬品, 全医薬品, 用量, 用法, 日数, コメント.

5.4.2 院内医薬品ボタン

院内薬にフィルタされた医薬品一覧リストが表示されます。

5.4.3 全医薬品ボタン

フィルタしない全医薬品の一覧リストを表示します。

5.4.4 医薬品一覧フィルタ

検索する際の医薬品をフィルタ制限します。

5.4.4.1 院内薬のみ

検索する医薬品を院内所有医薬品に限定します。

5.4.5 剤型区分

剤型区分選択した項目が検索対象となります。

すべての選択が OFF の場合は、フィルタ機能は OFF となり、すべてが検索対象となります。

5.4.5.1 内服薬

選択すると、医薬品をデータベースで内服薬として設定された医薬品に限定します。

5.4.5.2 外用薬

選択すると、医薬品をデータベースで外用薬として設定された医薬品に限定します。

5.4.5.3 注射薬

選択すると、医薬品をデータベースで注射薬として設定された医薬品に限定します。

5.4.5.4 歯科用

選択すると、医薬品をデータベースで歯科用として設定された医薬品に限定します。

5.4.6 医薬品名

5.4.6.1 ～で始まる

指定した文字から始まる医薬品名を検索します。

5.4.6.2 ～を含む

指定した文字から含む医薬品名を検索します。

5.5 処方印刷

入力したラベルを印刷し、カルテに対する処方入力を終了します。

印刷を行う際には、必ず履歴として保存が行われます。

5.5.1 標準処方と比較

ラベル設定項目の、印刷時、標準処方と比較が ON に設定されている場合、印刷前に、標準処方と比較し、標準処方と異なる場合は情報ダイアログを表示します。



5.5.2 処方箋メモ

患者状態や処方条件などをコメントとして残すことができます。

ここで記入したメモは処方履歴を表示した際に表示されます。(印刷はされません。)

5.5.3 印刷後、標準処方として登録

印刷するリストを処方履歴の標準処方として設定されます。

これ以前にも標準処方が登録されていた場合、あとから保存された内容が標準処方となります。

5.5.4 ラベル印刷ボタン

登録された処方内容を保存し、ラベルプリンタへのデータを送信します。

印刷部数で設定された部数の印刷を行います。

印刷後、医薬品処方入力リストをクリアして、新しいカルテの入力待ち状態となります。(保存・印刷後 終了処理を OFF に設定することにより、入力状態を保持することができます。)

5.5.5 印刷部数

ラベル印刷を行う際の印刷部数を設定します。

テスト印刷には影響しません。

5.5.6 テスト印刷

テスト印刷の場合は、印刷後に入力医薬品処方入力リストはクリアされません。

また、印刷部数に関係なく1部のみが印刷されます。

(テスト印刷の場合も保存は行われます。)

5.5.7 ラベルカット

ラベルプリンタにラベルカット信号を送ります。

現在位置でラベルカットされます。

5.6 処方保存

担当者 患者 基本処方 医薬品一覧 処方印刷 処方保存

処方保存 保存後、標準処方として登録

処方箋メモ

履歴設定に登録する日付

西暦 平成

2007 年 5 月 6 日 本日

履歴保存

カルテ情報のみの登録など、入力処方情報のラベルを印刷せずに、履歴保存のみを行う場合、処方保存を行います。

履歴保存後、カルテに対する処方入力を終了します。

5.6.1 履歴設定に登録する日付

履歴保存の場合、履歴設定に登録する日付により、履歴日付を自由に設定できます。

履歴保存の場合、保存時間は00時00分となります。

5.6.2 処方箋メモ

患者状態や処方条件などをコメントとして残すことができます。

ここで記入したメモは処方履歴を表示した際に表示されます。

5.6.3 保存後、標準処方として登録

保存するリストを処方履歴の標準処方として設定されます。

これ以前にも標準処方が登録されていた場合、あとから保存された内容が標準処方となります。

5.6.4 履歴保存ボタン

登録された処方内容を印刷せずに履歴保存します。

5.7 医薬品情報

登録番号	医薬品	医薬品一覧	18164
615200002	加味逍遙散料エキス顆粒T		
610460003	カムトン錠100mg		
610407026	カムリードカプセル12.5 12.5μg		
612320552	カムリードカプセル25 25μg		
611120142	カムリトン0.25mg錠		
610407227	カモエント錠100 100mg		
610407228	カモスタール錠100 100mg		
610407229	カモステート錠100 100mg		
610407230	カモストーン錠100 100mg		
610407231	カモスパン錠100 100mg		
610407232	カモタット錠100 100mg		
620002702	ガモファーD錠10mg		
620002703	ガモファーD錠20mg		
610463063	ガモファー散10%		

医薬品情報		後発品	院内薬
<input checked="" type="radio"/> 薬剤名称	カモエント錠100 100mg		
<input type="radio"/> 公示名称	メシル酸カモスタット100mg錠		
<input type="radio"/> 販売名称	カモエント錠100		
医薬品メモ	保存		
薬剤単位	錠 [PTP 100mg1錠]	薬価	¥15.80 内 <input checked="" type="checkbox"/> 選択

データベースの登録されている医薬品の情報を表示します。

表示する内容は3種の医薬品名称の他、薬剤単位、薬価、剤型情報、後発品、院内薬、向精神薬、麻薬等医薬品データベースで公開されている情報を表示します。

5.7.1 医薬品リスト選択

医薬品リストを選択すると医薬品情報が表示されます。

データベースに登録された情報を表示します。

医薬品により登録内容が異なったり、登録されていない場合があります。

5.7.2 標準選択名称

<input checked="" type="radio"/> 薬剤名称	カモ	左側の選択ボックスで選択されている医薬品名が標準選択名として使用され、選択ボタンで医薬品名に入力されます。
<input type="radio"/> 公示名称	メシ	選択ボックスはクリックで切り替えることができます。
<input type="radio"/> 販売名称	カモ	また、表示されている薬品名称をクリックすることで、直接選択することができます。
医薬品メモ	保	

5.7.3 選択ボタン



選択ボタンを押すことで、標準選択された医薬品名称を処方編集に入力します。

選択ボタン左側のチェックボックスを ON にしておくことで、医薬品リストを選択すると自動的に標準選択の医薬品名を処方編集に入力します。

チェックボックスが ON の場合、リストをクリックすると入力途中でも新たな医薬品が選択されるので、注意してください。

5.7.4 医薬品メモ

各医薬品にユーザーコメントを付けることができます。

本情報を保存すると、共有処方箋データベースに保存されます。

ユーザーコメントは処方編集ブロックの医薬品コメントに入力されます。

5.8 処方編集ブロック

医薬品情報から選択された医薬品名や用量、用法などの処方内容を編集入力します。

薬名やコメントの中に、改行文字(Enter)は入れないでください。

また、入力できる文字はラベルプリンタが対応しているシフト JIS コードに対応した文字種に限ります。

5.8.1 薬名入力ボックス

登録する薬名を入力します。リストから選択するか、手入力を行います。

リストから選択された薬剤は薬 ID が表示され、医薬品情報が保持されます。

長い薬名の場合は、最大 2 行まで印刷します。

薬名に合わせて全角/半角をマニュアルで調整します。

5.8.2 半角/全角ボタン

入力されている薬名を、漢字全角・半角変換します。

ボタンを押したままの状態では新たに入力された薬名が自動的に変換されます。

5.8.3 薬剤混合チェックボックス

複数の薬剤を調製する場合、混合する薬の薬剤混合チェックボックスを ON にすることで 1 つの薬として番号が振られます。混合の場合、量は混合するそれぞれの薬剤で指定しますが、用法や日数は先頭で指定します。(先頭のデータが引き継がれます。)

※ 薬剤混合医薬品が複数枚のラベルにわたって配置された際に、混合薬を間違えないように、用法や日数印刷は混合されたグループの末尾の薬剤位置のみへの表示となります。

5.8.4 用量、用法、日数チェックボックス

The image shows two side-by-side screenshots of a software interface. Each screenshot displays three rows of controls. The first row has a checked checkbox followed by a text box containing '5' and a dropdown menu with 'g'. The second row has a checked checkbox followed by a text box containing '分3'. The third row has a checked checkbox followed by a text box containing '3' and a dropdown menu with '日分'. Below these rows are three buttons: '自動配置', '右寄せ', and 'クリア'. The right screenshot is identical but with all three checkboxes unchecked.

チェックボックスが ON の場合、入力内容は処方登録後もクリアされます。

チェックボックスが OFF の場合、処方登録後も入力内容は保持され、次の項目として使用できます。用法、日数など同じ条件が続く場合に利用します。

※ チェックボックスが OFF でも、リストからの容量単位設定や手入力は可能です。

用量、用法、日数各項目は、数値および単位合わせて半角 7 ケタ分の印刷スペースをそれぞれ確保しています。

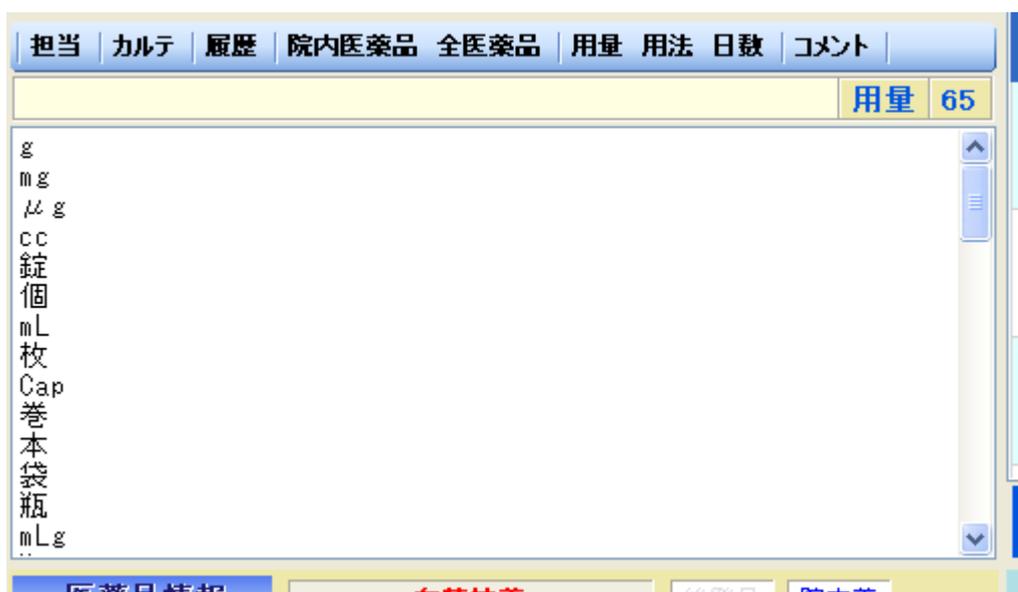
5.8.5 用量

処方する医薬品の用量を入力します。

用量単位の初期値は医薬品とともにデータベースに登録された単位を表示します。

用量単位入力セルは手入力でも設定もできるほか、用量単位入力セルをクリックすると、登録されている用量が選択リストに表示され、選択クリックで入力できます。

用量は半角 3 桁、用量単位最大表示桁数は半角 5 文字もしくは全角 2 文字です。



5.8.6 用量単位一覧リスト編集

選択リストを選択した状態でマウス右クリックにより用量単位の変更ができます。

標準で見づらい場合、表示を変更することが可能です。



用量単位は共通データベース項目となります。

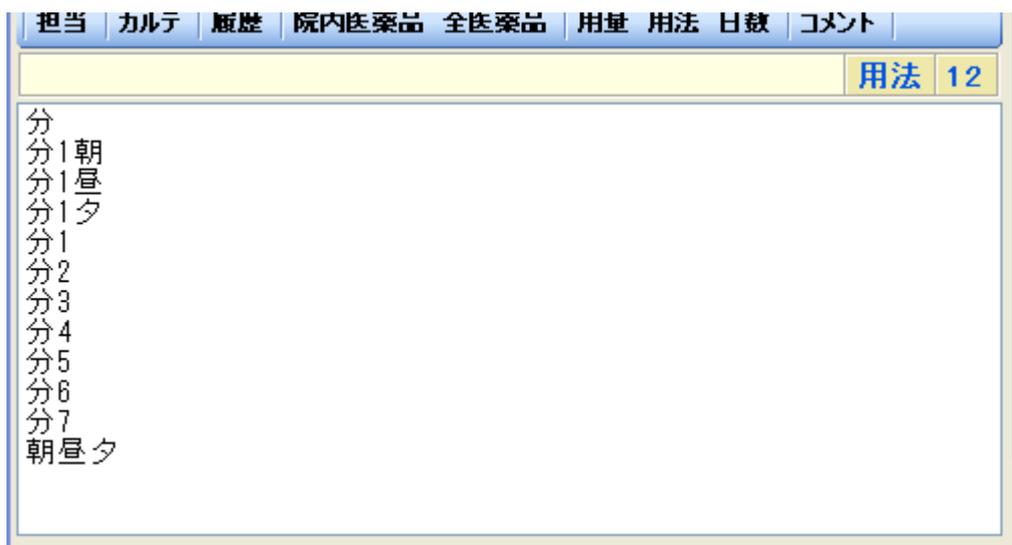
用量情報は医薬品データベースと関連付けられているため、その単位を用いたすべての表示が変更されます。

5.8.7 用法

処方する医薬品の用法を入力します。

用法入力セルは手入力で設定もできるほか、用法入力セルをクリックすると、登録されている用法が選択リストに表示され、選択クリックで入力できます。

最大表示桁数は半角 7 文字もしくは全角 3 文字です。

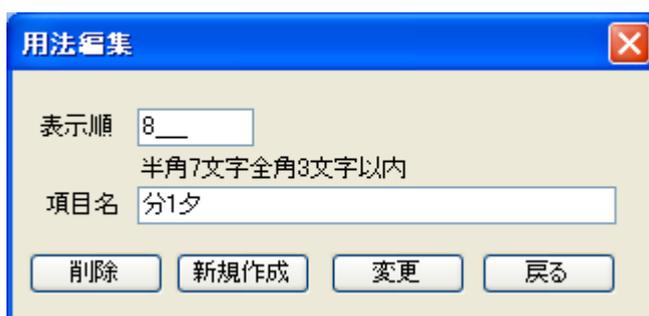


The screenshot shows a software window with a menu bar containing '担当', 'カルテ', '履歴', '院内医薬品', '全医薬品', '用量', '用法', '日数', and 'コメント'. Below the menu bar, there is a yellow header area with a button labeled '用法' and the number '12'. A dropdown menu is open, listing the following options: 分1朝, 分1昼, 分1夕, 分1, 分2, 分3, 分4, 分5, 分6, 分7, and 朝昼夕.

5.8.8 用法一覧リスト編集

選択リストを選択した状態でマウス右クリックにより用法の変更ができます。

項目を追加・編集することが可能です。



The screenshot shows a dialog box titled '用法編集' (Usage Edit). It contains a '表示順' (Display Order) field with the value '8', a '項目名' (Item Name) field with the value '分1夕', and a note '半角7文字全角3文字以内' (Within 7 half-width characters or 3 full-width characters). There are four buttons at the bottom: '削除' (Delete), '新規作成' (New), '変更' (Change), and '戻る' (Back).

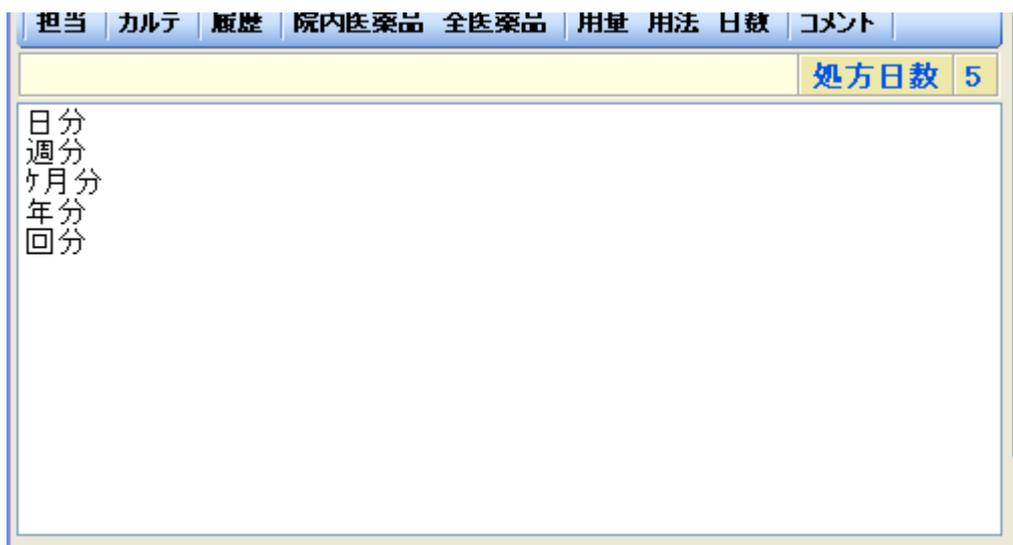
用法は個別項目となり、PC 端末ごとの管理項目となります。

5.8.9 日数

処方する医薬品の日数を入力します。

日数単位入力セルは手入力でも設定もできるほか、日数単位入力セルをクリックすると、登録されている日数単位が選択リストに表示され、選択クリックで入力できます。

最大表示桁数は半角 5 文字もしくは全角 2 文字です。

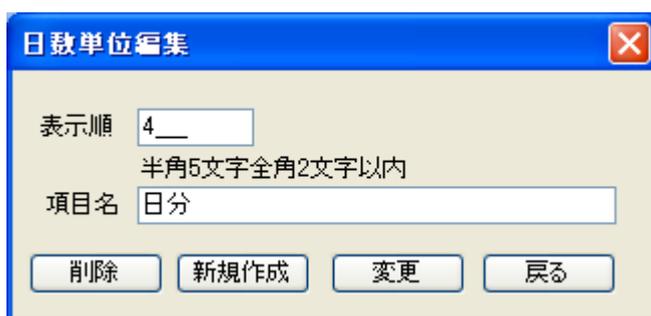


The screenshot shows a software window with a menu bar containing '担当', 'カルテ', '履歴', '院内医薬品', '全医薬品', '用量', '用法', '日数', and 'コメント'. Below the menu bar, there is a yellow header area with the text '処方日数' and the value '5'. A dropdown menu is open, listing the following options: '日分', '週分', 'ヶ月分', '年分', and '回分'.

5.8.10 日数単位一覧リスト編集

選択リストを選択した状態でマウス右クリックにより日数単位の変更ができます。

項目を追加・編集することが可能です。



The screenshot shows a dialog box titled '日数単位編集' (Edit Duration Unit). It contains the following fields and controls:

- '表示順' (Display Order): A text box containing the number '4'.
- A note below the display order field: '半角5文字全角2文字以内' (Within 5 half-width characters or 2 full-width characters).
- '項目名' (Item Name): A text box containing '日分'.
- Four buttons at the bottom: '削除' (Delete), '新規作成' (New), '変更' (Change), and '戻る' (Back).

日数単位は個別項目となり、PC 端末ごとの管理項目となります。

5.8.11 処方コメント

調剤する薬剤師の方に伝える情報を入力します。

手入力もしくは選択リストから入力します。手入力の場合、最大 2 行まで入力できます。

改行(ENTER)はプリンタでの印字位置がずれるため、使用できません。

医薬品にユーザーコメントがつけられている場合、処方コメントの初期値として用いられます。

5.8.12 処方コメント一覧リスト編集

選択リストを選択した状態でマウス右クリックにより処方コメントの変更ができます。

処方コメントを追加・編集することが可能です。

処方コメントは個別項目となり、PC 端末ごとの管理項目となります。

5.9 処方リスト

① MS温シップ「タイホウ」	10g	分1	7日分
② PL顆粒	3g	分1夕	7日分
③ SPトローチ明治 0.25mg	3錠	分1夕	7日分
④ アレルギン散 1%	3g		
・ 安息香酸ナトリウムカフェイン	3g	分1夕	7日分

薬数 5
印刷行 5

薬番号 4 薬剤混合 用量 3

5.9.1 追加ボタン

追加ボタンを押すと、処方編集ブロックの内容が処方リストに登録されます。

処方リストに登録された内容が処方データとなり、保存や印刷の対象となります。

1回の処方に対して、最大99件までの医薬品を登録することができます。

医薬品単位(混合医薬品の1グループが1単位)で交互に色分け表示されます。

(本説明書の表示医薬品は、説明のために単純無作為に選択したものです。)

5.9.2 訂正

訂正ボタンもしくは処方リストをクリックすると、リストは編集モードとなり、リストに登録された医薬品の内容や登録を編集できます。

5.9.3 処方リスト編集モード

リスト内の編集対象が濃い青色で表示されます。

処方リストが編集モードとなっている際は、移動や削除などの編集ボタンブロックも青の背景色となります。

また、選択されている編集対象医薬品は、処方編集ブロックに内容が表示され編集可能状態となります。

① MS温シップ「タイホウ」 10g 分2 7日分

② SPトローチ明治 0.25mg 1錠 分5 7日分

選択 薬数 2
印刷行 2

薬番号 薬剤混合 用量

薬名 用法

薬ID 日数

コメント 左寄せ 自動配置 右寄せ

5.9.4 変更ボタン

内容を変更後、変更ボタンを押すことで変更内容がリストに反映されます。

5.9.5 戻るボタン

戻るボタンは編集モードを終了します。

(注意:UNDO 機能ではありません。)

5.9.6 削除ボタン

選択した内容を、処方リストから削除します。

5.9.7 移動ボタン

移動ボタンを押すと、選択されている医薬品のリストでの位置を変更できます。

移動モードの状態は下記のように文字色が赤くなります。

移動モード状態では、 ボタンで上下に移動できます。

戻るボタンで移動モードを終了します。

5.9.8 移動モードの例

④ アレルギン 散 1%	3g
・ 安息香酸ナトリウムカフェイン	3g 分1夕 7日分

編集モード

④ アレルギン 散 1%	3g
・ 安息香酸ナトリウムカフェイン	3g 分1夕 7日分

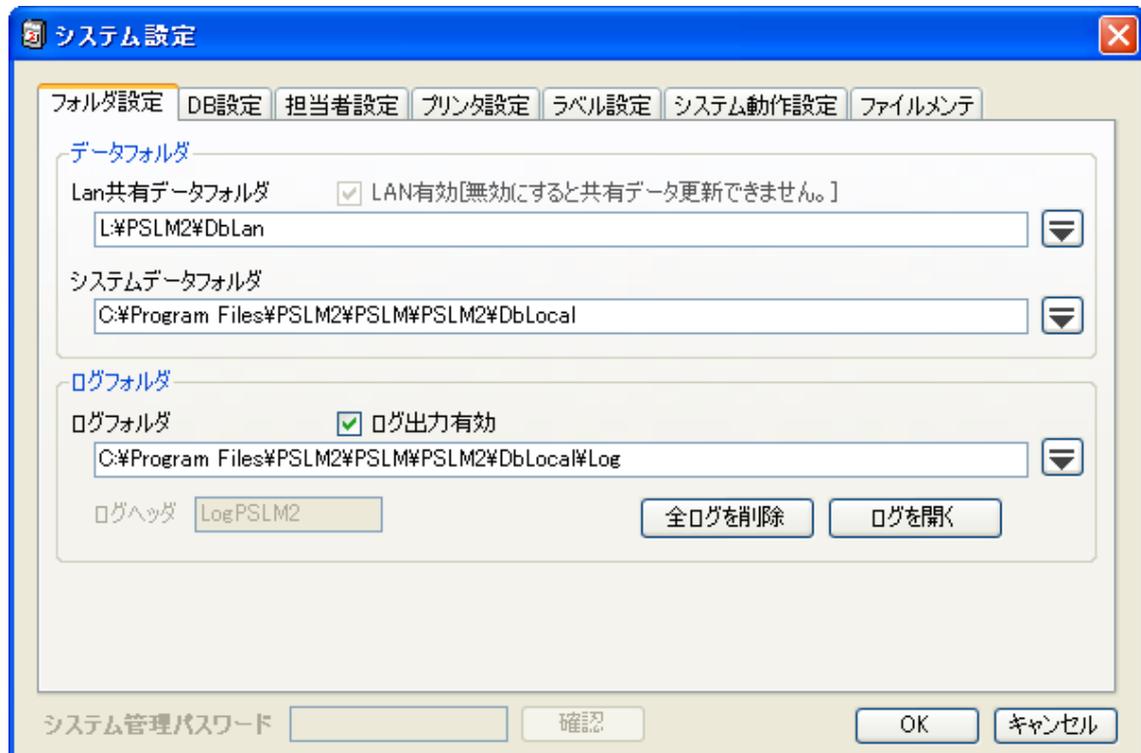
移動モード: 赤文字色

・ 安息香酸ナトリウムカフェイン	3g 分1夕 7日分
④ アレルギン 散 1%	3g 分1夕 7日分

アイテムを上に移動した

6 設定例

以下に設定の例を示します。ご使用環境に合わせて設定してください。

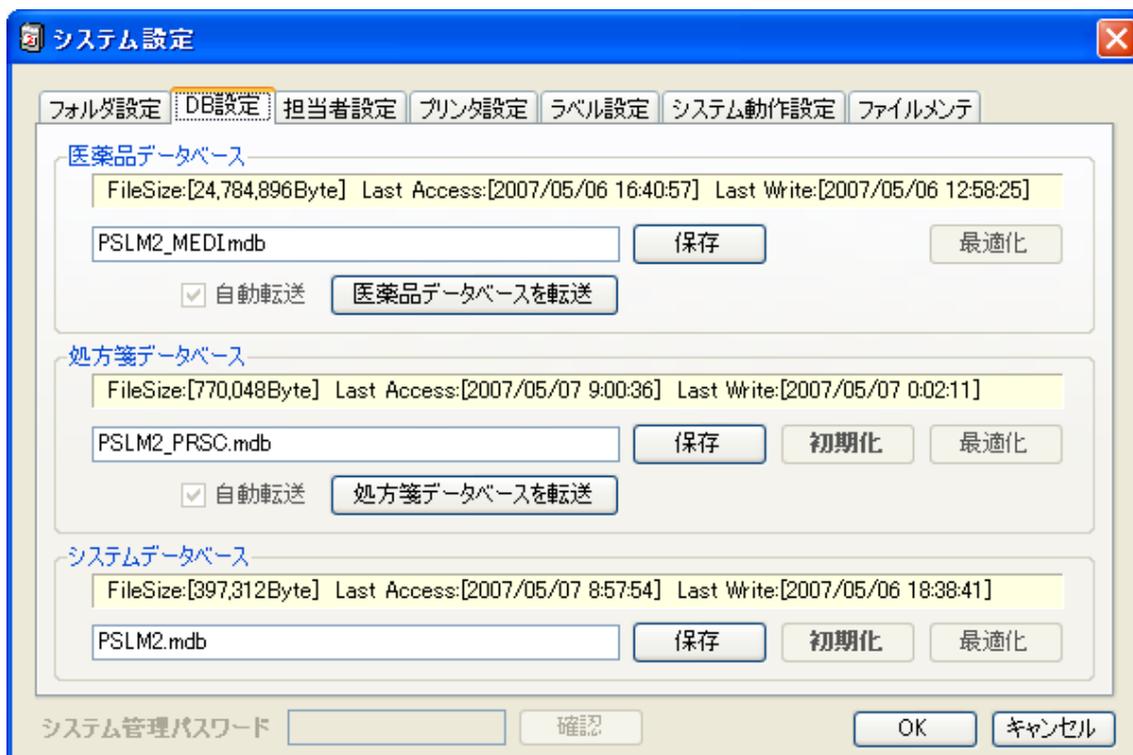


以下のパスを設定します

Lan 共有データフォルダ

システムデータフォルダ

ログフォルダ



DB パス設定後、医薬品データベース転送を実行

システム設定

フォルダ設定 DB設定 担当者設定 プリンタ設定 ラベル設定 システム動作設定 ファイルメンテ

00000013 小児科 田中 一郎

ID: 13 登録日 2007/05/06 15:58:49 更新日 2007/05/06 16:03:03 表示更新

患者情報-許可項目 処方情報-許可項目 処方出力-許可項目

登録 変更 削除 表示 登録 削除 設定 ラベル ファイル

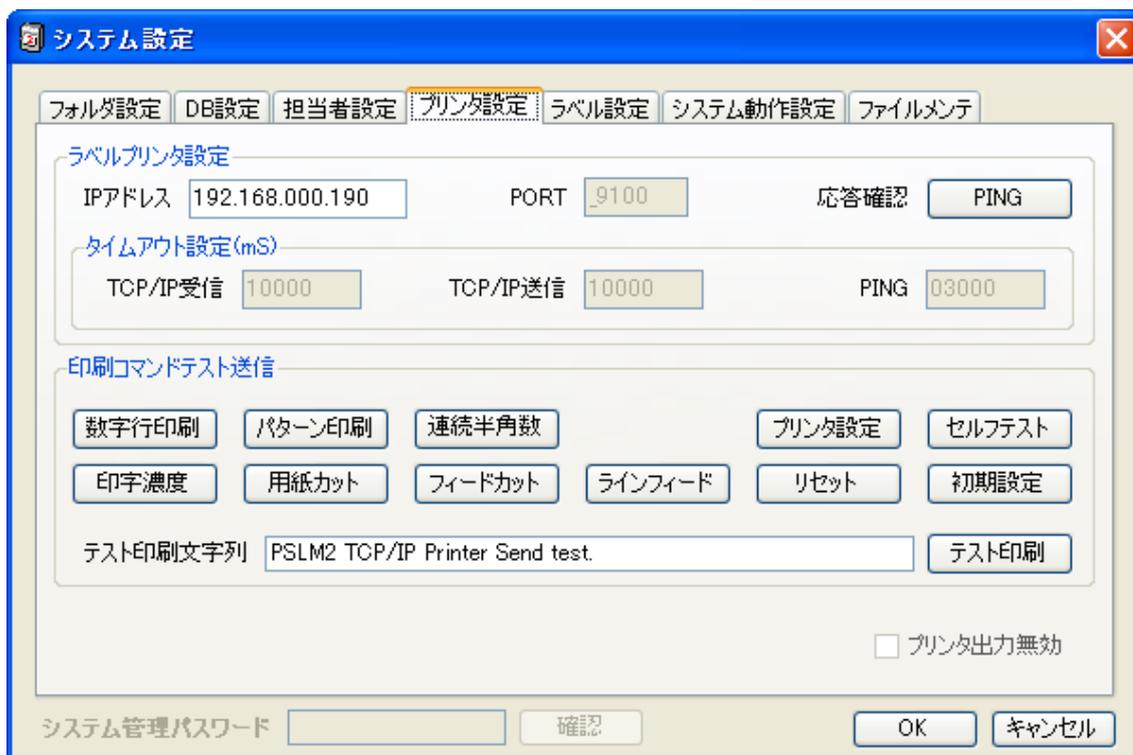
基本設定 管理者設定 責任者設定 担当医師設定 入力担当設定 全不許可設定

担当者名 小児科 田中 一郎 記号 田 クリア 削除 更新

パスワード ***** ヒント abcdeだよ

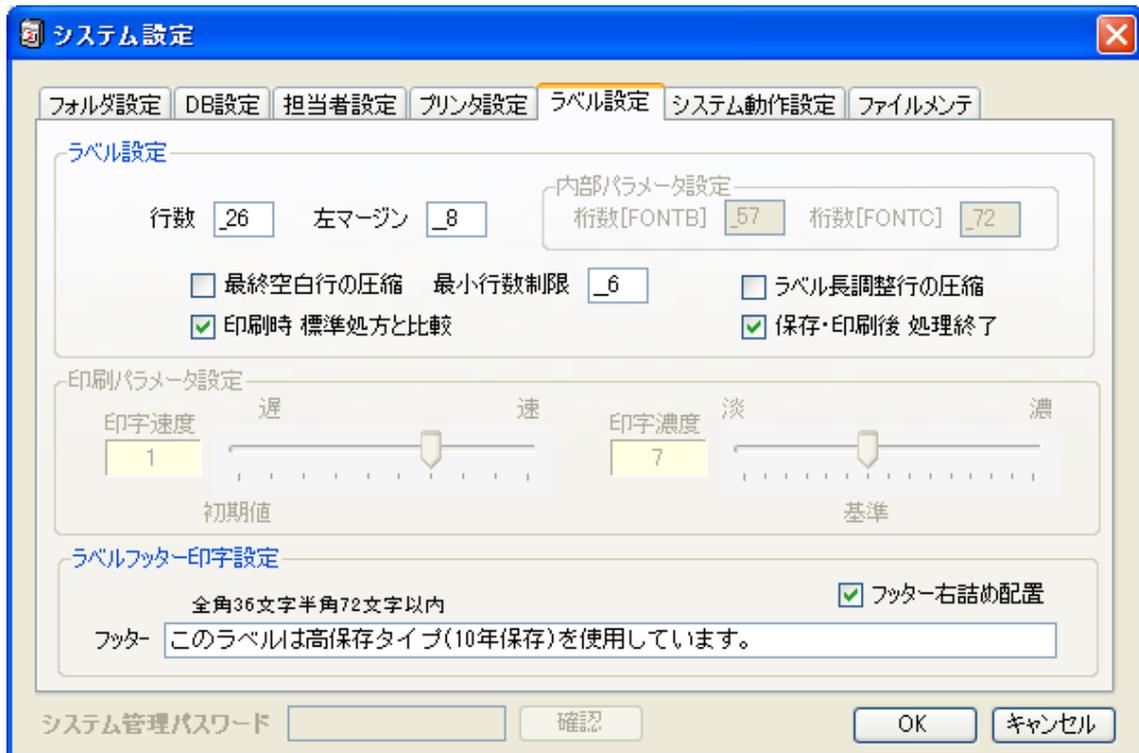
システム管理パスワード 確認 OK キャンセル

担当者を設定します。



プリンタの IP アドレスを設定

Ping で接続テスト



フッター文字列を設定

システム設定

フォルダ設定 DB設定 担当者設定 プリンタ設定 ラベル設定 システム動作設定 ファイルメンテ

システム管理パスワードの変更[最大16文字]

現在のパスワード 新しいパスワード

システム情報

システム情報	PSLM2 Build 2.0.0.0		
登録MAC	000C6E028603	MyID	1

エラー詳細メッセージ メンテナンスモード

システム管理パスワード

システム設定

フォルダ設定 DB設定 担当者設定 プリンタ設定 ラベル設定 システム動作設定 **ファイルメンテ**

データベース CSV出力

保存対象

カルテ情報
 処方箋情報
 処方薬詳細
 印刷ラベル情報

期間指定
 2007年 5月 7日 ~ 2007年 5月 7日

すべて
 1日 1月 1年
 保存実行

医薬品データベース

0

医薬品CSV読込

システム管理パスワード

タイトル	PreScripton Label Maker Ver.2 処方箋ラベル 印刷プログラム
初版発効日	2007年05月07日
編集管理番号	10
版数	第1.00版
版管理日	2007年5月7日
著作者	Naoya
管理ファイル	PSLM2 取扱説明書 h.doc
発行元	テクノベインズ株式会社 東京都文京区湯島 3-31-4 〒113-0034 ツナシマ第1ビル2階 電話:03-3832-7460 http://www.technoveins.co.jp

©Copyright by Techno Veins Co., Ltd. 1987-2007 All rights reserved.